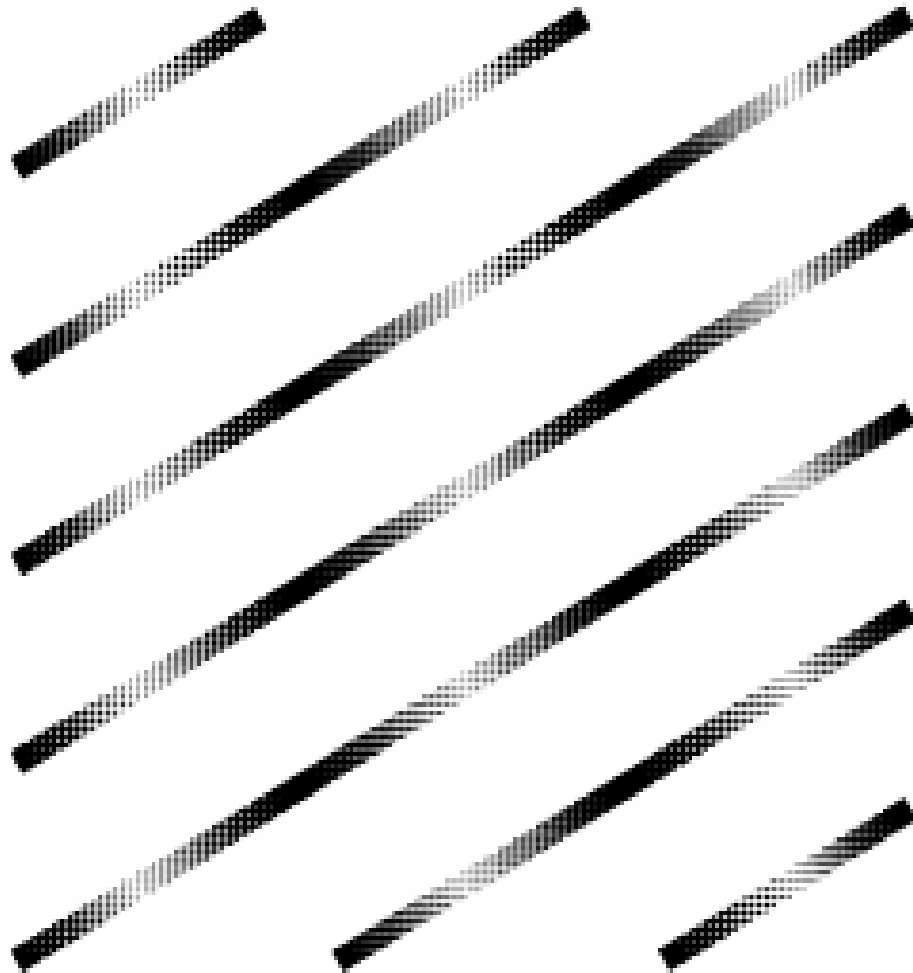




第16回

# 江東区政世論調査

平成15年



## 4 0 万 都 市 の 自 治 体 と し て

- 高い定住意向に支えられ -

江東区政世論調査は、区民皆様のご意見を区政に反映する一つの方法として、昭和48年から隔年で実施してきており、今年で16回目となります。

この間、区政を取り巻く環境は大きく変化してきています。かつて水害に悩まされた本区も今日、災害対策はもとより臨海副都心開発や交通アクセスの整備等、まちづくり全般において目まぐるしい伸展を続けております。

一方、地方分権が進む中、平成12年4月の特別区制度改革実現など、特別区の権限が大幅に拡大されるとともに、自治体としてのアカウンタビリティ（説明責任）が厳しく問われる時代となりました。

江戸開府400年といった感慨深い年に調査を実施した今回、皆様の意向をより幅広く反映させるため、通常の「定住意向」「防災対策」「施策要望」等の調査項目に加え、「小・中学校普通教室の冷房化」「子育て支援」「NPO」など、現代社会の背景に沿った調査項目を新たに盛り込みました。

今回の定住意向調査では「江東区にずっと住みたい、当分は住みたい」と答えた割合が85.2%と相変わらず高い数値を示し、平成元年の83.2%以来、常に80%台半ばの数値が続いております。

昨年8月、本区の人口も40万人に達し、全国約3,300自治体の中でも50番目位の都市となり、大変喜ばしい反面、特定地域に偏った人口増への行政施策が大きな課題となっています。今後、これらの懸案も着実に解決し、江東区基本構想に掲げる「伝統と未来が息づく水彩都市・江東」の実現に向け、皆様の期待と信頼に応える江東区政づくりに邁進してまいります。

ご回答いただきました調査結果につきましては、今後の区政運営や施策立案の際の貴重な基礎資料として活用してまいりたいと考えております。

最後に、本調査にあたり、ご協力いただきました区民の皆様に、心から御礼を申し上げます。

平成15年12月

江東区長 室 橋 昭

## 1. 調査の目的

江東区政の各分野について区民の意識や動向、意見や要望などを把握することにより、今後の区政運営の参考に資する。

## 2. 調査の内容

- |          |              |             |
|----------|--------------|-------------|
| (1) 定住性  | (6) 子育て支援    | (11) 選挙     |
| (2) 情報化  | (7) ごみ・リサイクル | (12) 長期基本計画 |
| (3) 防災対策 | (8) 美しいまちづくり | (13) 広報・広聴  |
| (4) NPO  | (9) 公園       |             |
| (5) 介護保険 | (10) 交通      |             |

## 3. 調査の設計

- |              |  |
|--------------|--|
| (1) 調査地域     | 江東区全域  |
| (2) 調査対象     | 江東区在住の満20歳以上の男女  |
| (3) 標本数      | 1,200人   |
| (4) 調査対象者の抽出 |  |
| 母集団          | 江東区住民基本台帳上の満20歳以上の男女   |
| 地点数          | 120地点(1地点10票)  |
| 抽出法          | 層化2段無作為抽出法(層化 地点抽出 対象者抽出)  |
| 層化           | 1又は2箇所の出張所の所管区域を単位として7地区に層化(図1参照)                                    |
| 地点数配分        | 1地点が10票となるように、各地区の調査対象者に応じて地点数を比例配分した(合計120地点)                       |
| 地点抽出         | 各地区ごとの地点数に応じてインターバルを定め、等サイズブロック抽出法に従い、無作為系統的に各地点の抽出スタート点を決めて地点を抽出した。 |
| 対象者抽出        | 抽出された各地点のスタート点より、1地点10票ずつのサンプルを無作為系統的に抽出した。                          |
| (5) 調査期間     | 平成15年6月27日～7月13日   |
| (6) 調査機関     | 株式会社 サベイリサーチセンター   |

图1 地区区分图



表1 地区・町丁名対応表

地区	該当町丁目
白河・小松橋	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋、千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
富岡・東陽	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島、木場、東陽、南砂2丁目(1番1号~5号・5番~7番)、新砂1丁目1番
豊洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
龜戸	龜戸
大島	大島
砂町	北砂、南砂(1丁目、5丁目)、南砂2丁目(24番~34番)、東砂(1丁目~5丁目)
南砂	東砂6丁目~8丁目、南砂2丁目(1番1号~5号・5番~7番・24番~34番を除く) 3・4・6・7丁目、新砂1丁目(1番を除く) 2・3丁目、夢の島、新木場、若洲

#### 4. 調査方法

- (1) 実査方法 調査員による個別面接聴取法
- (2) 調査票 巻末綴じ込みの調査票を使用
- (3) 予告はがき 「江東区政世論調査のお願い」の調査訪問予告はがきをあらかじめ郵送した。
- (4) 再訪問 調査対象者が不在の場合は、日時を変えて3回以上訪問し、調査が円滑に遂行されるように心掛けた。

#### 5. 回収結果

##### (1) 回収結果内訳

地 区	満 20 歳以上人口( 構成比 )	標本数	有効回収数	有効回収率
区 全 体	319,003 人 ( 100.0% )	1,200 票	951 票	79.3%
白河・小松橋	51,347 人 ( 16.1% )	190	163	85.8
富岡・東陽	49,653 人 ( 15.6% )	190	146	76.8
豊 洲	44,576 人 ( 14.0% )	170	117	68.8
亀 戸	36,839 人 ( 11.5% )	140	125	89.3
大 島	47,941 人 ( 15.0% )	180	148	82.2
砂 町	56,838 人 ( 17.8% )	210	156	74.3
南 砂	31,809 人 ( 10.0% )	120	96	80.0

(2) 回収不能数 249 票 回収不能率 20.8%

##### (3) 回収不能内訳

回収不能項目	件数	構成比(%)
拒 否	78	31.3
長 期 不 在	30	12.0
短 期 不 在	80	32.1
転 居 ・ 転 出	19	7.6
住 所 不 明	18	7.2
病 気 ・ 入 院 ・ 死 亡	8	3.2
そ の 他	16	6.4

## 6. 摘要と標本誤差

- (1) すべての集計表は、小数点第2位を四捨五入した。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基礎(n)として算出した。したがって、複数の回答の設問のすべての比率は合計すると100%にならないことがある。
- (3) 標本誤差(サンプル誤差)はおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基礎(n)及び回答比率(P)によって異なる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数  
n = 比率算出の基数(サンプル数)  
p = 回答の比率

回答の比率 (p) 基礎(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
951	± 2.8%	± 3.7%	± 4.2%	± 4.5%	± 4.6%
800	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 4.9%	± 5.0%
600	± 3.5%	± 4.6%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%
400	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
200	± 6.0%	± 8.0%	± 9.2%	± 9.8%	± 10.0%
100	± 8.5%	± 11.3%	± 13.0%	± 13.9%	± 14.1%

(注) 1. 表は  $\frac{N-n}{N-1}$  1 として算出した。

2. 層化を行った場合、誤差は上表よりやや小さくなる。

3. この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答者が951人であり、その設問中の選択肢の回答比率が70%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも4.2%である。」

## 7. 集計・分析にあたって

(1) 集計は、単純集計、フェイスシートとのクロス集計、設問間のクロス集計の3種類を行った。

(2) フェイスシート7項目およびそれに準ずる設問として2項目を採用した。

地区別	ライフステージ別(F5)
性別(F1)	住居形態別(F6)
性・年齢別(F1×F2)	居住年数別(問1)
職業別(F3)	定住・転出意向別(問2)
家族人数別(F4)	

(3) 巻末相関表には、(2)の9項目を基本分類軸として掲載した。ただし、問21～問41の「長期基本計画」関連の質問は、上記項目のうち地区別、男女別、男女年代別、ライフステージ別の相関表のみを掲載している。

(4) 分析に使用したパーセント表示は、全体については小数点第2位を四捨五入して少数点第1位を算出したものを使用した。また、クロス集計によるグラフ上で比率の少ないものは省略した場合もある。したがって、同一項目で小数点第1位と少数点第2位の四捨五入で数値が異なる場合や、回答比率の合計が100%にならないものがある。

(5) 図、表中の数字で、「-」(バー)はその項目に該当する回答がまったくないものを示す。

(6) ライフステージの名称および内容は以下のとおりである。

独身期	40歳未満の独身者
家族形成期	40歳未満の子どもがいない夫婦、または一番上の子どもが小学校入学前
	の人
家族成長前期	一番上の子どもが小・中学生の人
家族成長後期	一番上の子どもが高校・大学生の人
家族成熟期	64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
老齢期	65歳以上の人

(7) 「調査結果の分析」の分析軸で、職業別の内容は以下のとおりである。

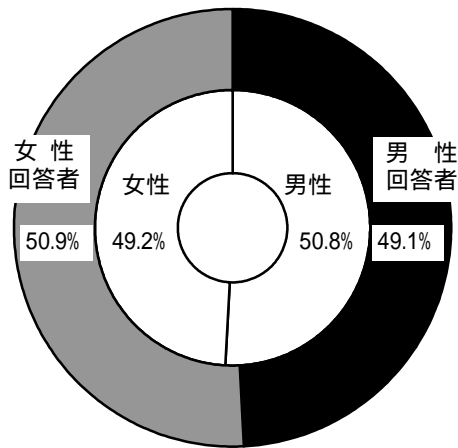
有職男性 技術	男性で職業が「自営業・事業主」、「自由業」、「管理職」、「事務職・職」、「労務職・サービス職」、「パート・アルバイト」のいずれかに該当する人
有職女性 技術	女性で職業が「自営業・事業主」、「自由業」、「管理職」、「事務職・職」、「労務職・サービス職」、「パート・アルバイト」のいずれかに該当する人
専業主婦	職業が「専業主婦」に該当する人
学生	職業が「学生」に該当する人
無職	職業が「無職」に該当する人

## 8. サンプル（調査回答者）特性

今回の回答者の特性は、下記のとおりである。なお、母集団とは住民基本台帳上の満20歳以上の男女全員である。

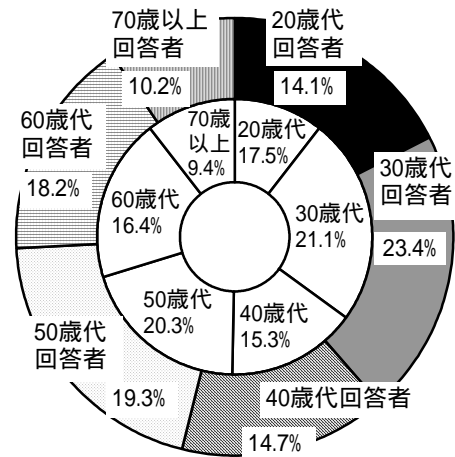
### （1）性別

母集団は男性の方が多いが、回答者は女性の方が多い。



### （2）年齢

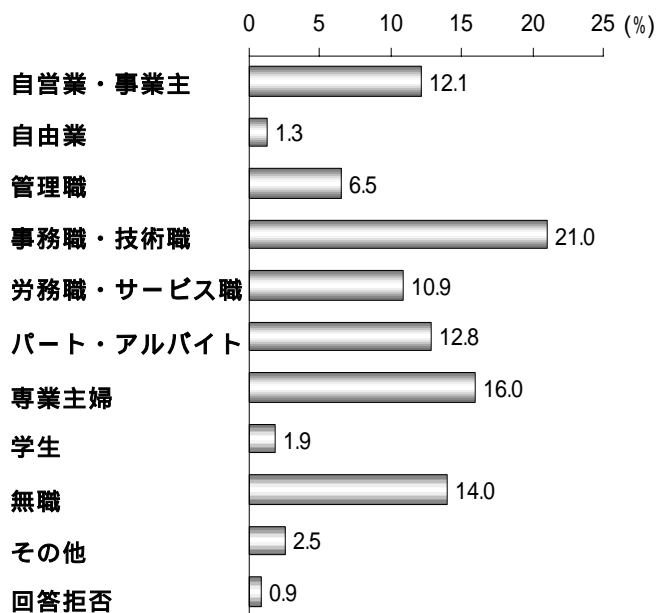
30歳代、60歳代が母集団の割合に比べて回答者の割合が多くなっている。



（注）内円は母集団（江東区在住の満20歳以上の区民）の構成比、外円は調査回答者の構成比を示している。

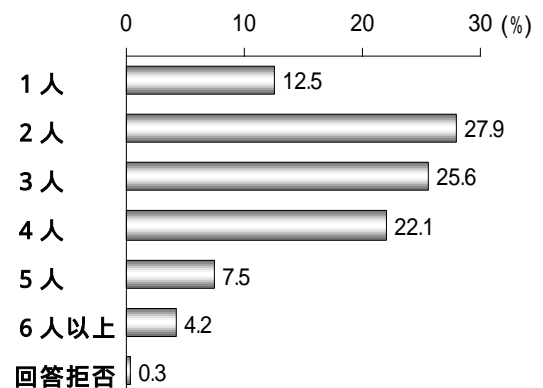
### （3）職業

事務職・技術職が最も多く、次いで専業主婦が多い。



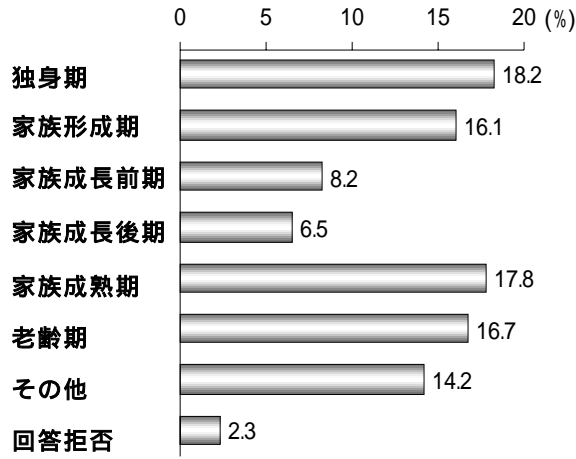
### （4）家族人数

2～4人家族がそれぞれ2割台となっている。



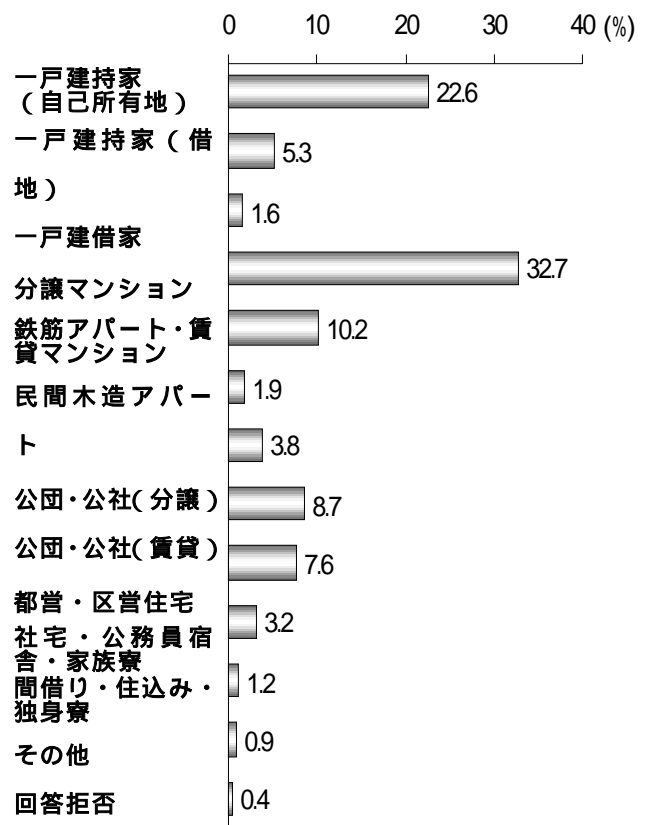
( 5 ) ライフステージ

独身期が最も多く、家族成熟期が僅差で続く。



( 6 ) 住居形態

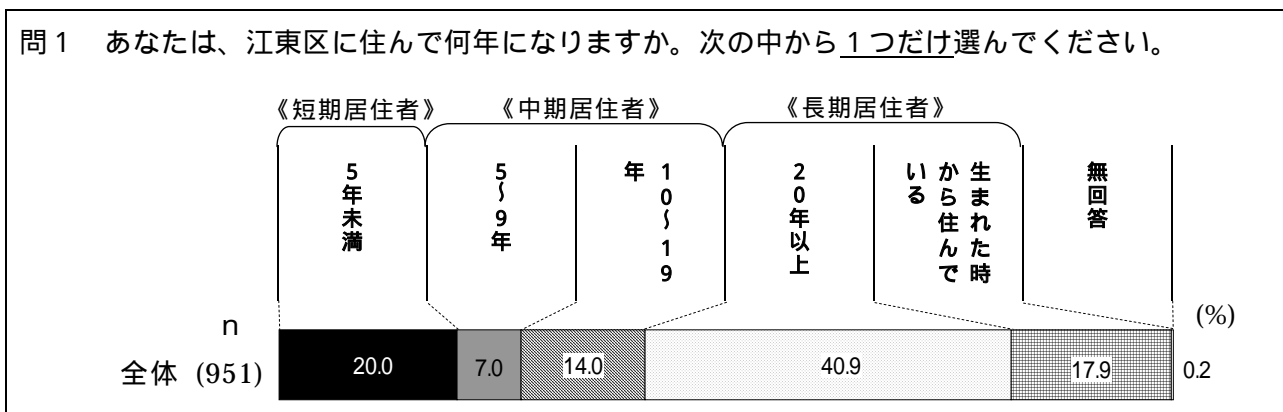
分譲マンションが最も多く、次いで一戸建持家（自己所有地）が多い。



【定住性】

(1) 居住年数

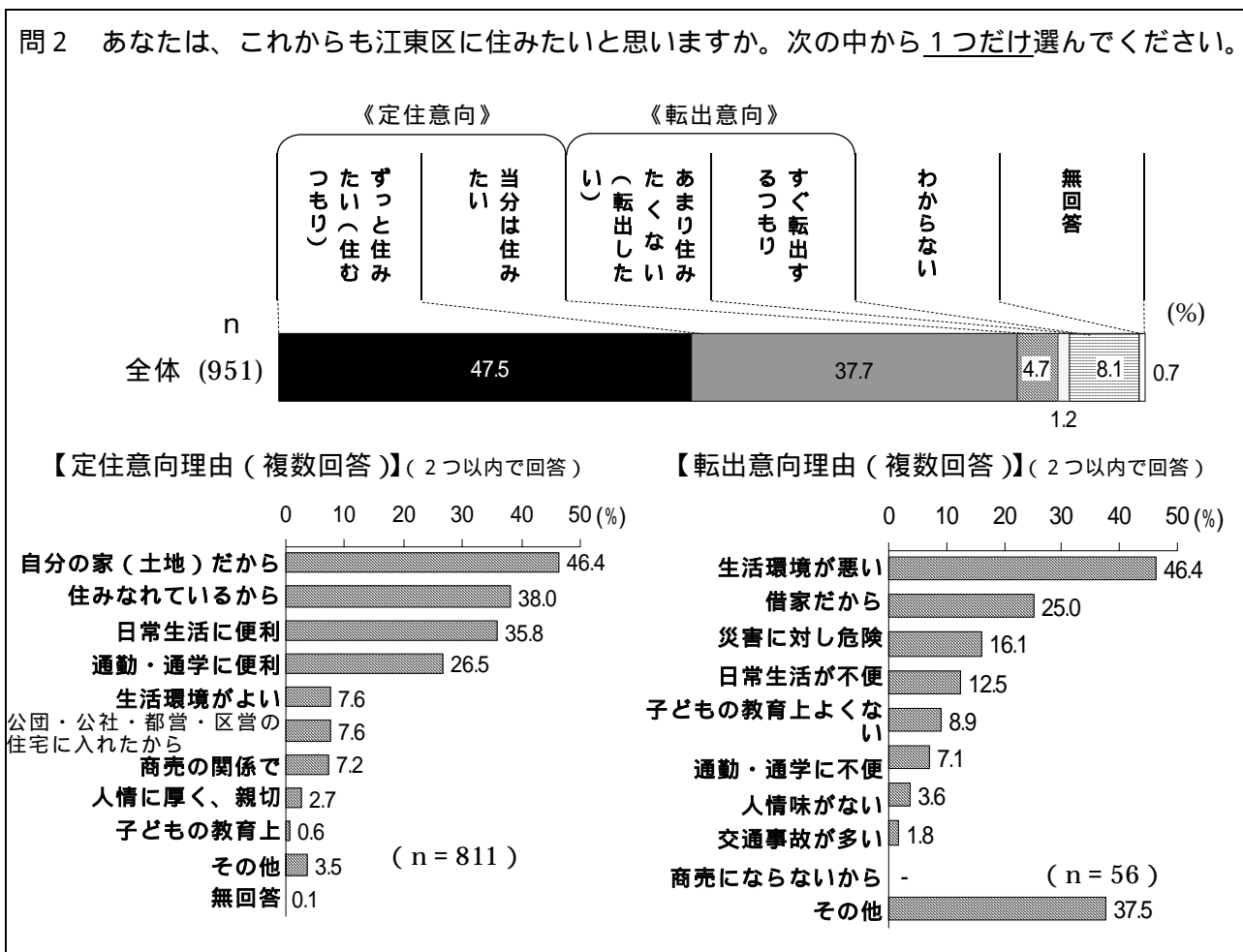
《長期居住者》が約6割



居住年数では、「20年以上」(40.9%)と「生まれた時から住んでいる」(17.9%)を合わせた、《長期居住者》(58.8%)は約6割と最も多い。

(2) 定住・転出意向

《定住意向》が85.2%



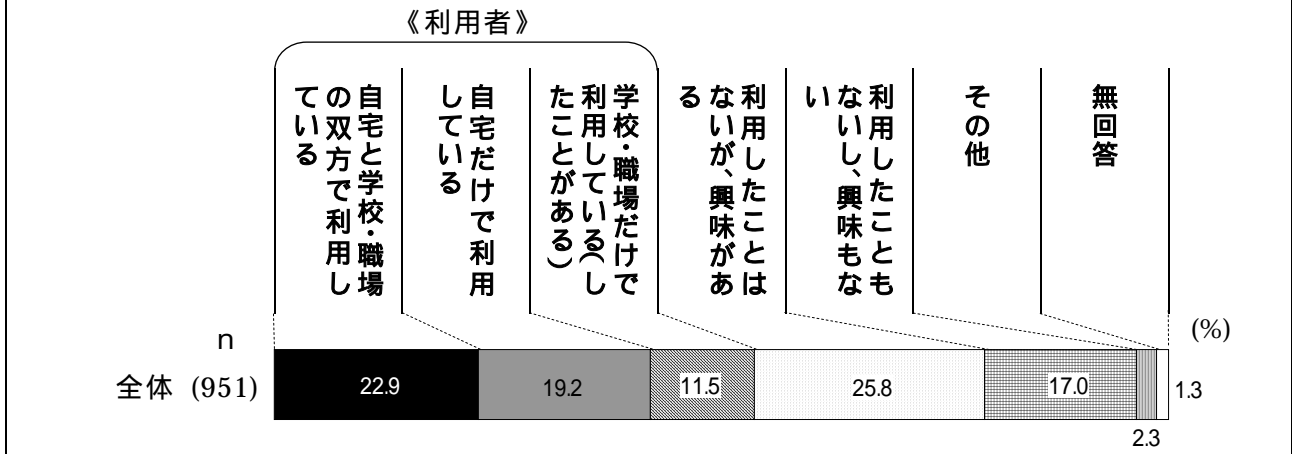
定住・転出意向では、「ずっと住みたい(住むつもり)」(47.5%)と「当分は住みたい」(37.7%)を合わせた、《定住意向》(85.2%)が8割台半ばで多くなっている。

## 【情報化】

### (1) インターネットの利用状況

《利用者》が53.6%で半数を超える

問3 現在、パソコンなどを使って家庭や職場から海外の情報が見られたり、電子メールのやりとりができるインターネットが急速に普及していますが、あなたは「インターネット」をどの程度利用していますか。次の中から1つだけ選んでください。



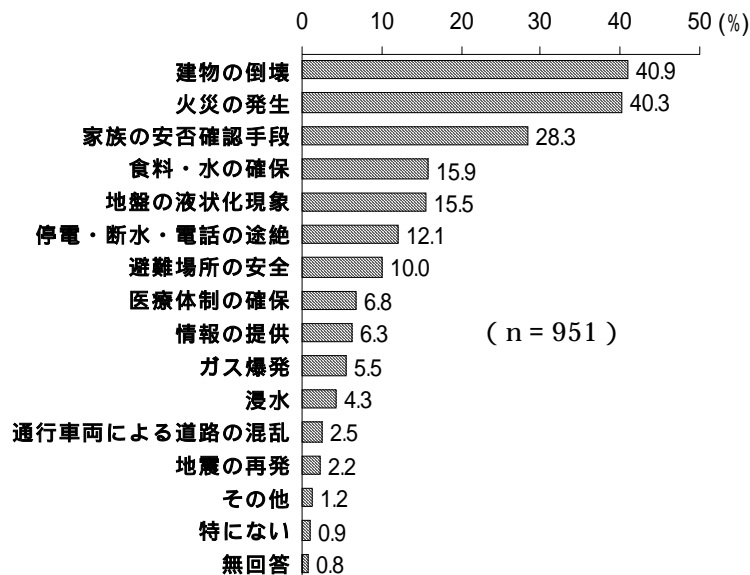
インターネットの利用状況としては、「自宅と学校・職場の双方で利用している」(22.9%)、「自宅だけで利用している」(19.2%)が2割前後で、これら2項目に「学校・職場だけで利用している(したことがある)」(11.5%)を合わせた、《利用者》(53.6%)が半数を超える。その一方で、「利用したことはないが、興味がある」(25.8%)は4人1人、「利用したこともないし、興味もない」(17.0%)は1割台半ばを超える。

## 【防災対策】

### (1) 震災時の不安

「建物の倒壊」と「火災の発生」が4割を超え上位2項目

問4 大地震が起きた時、あなたが特に不安だと思うものを次の中から2つまで選んでください。

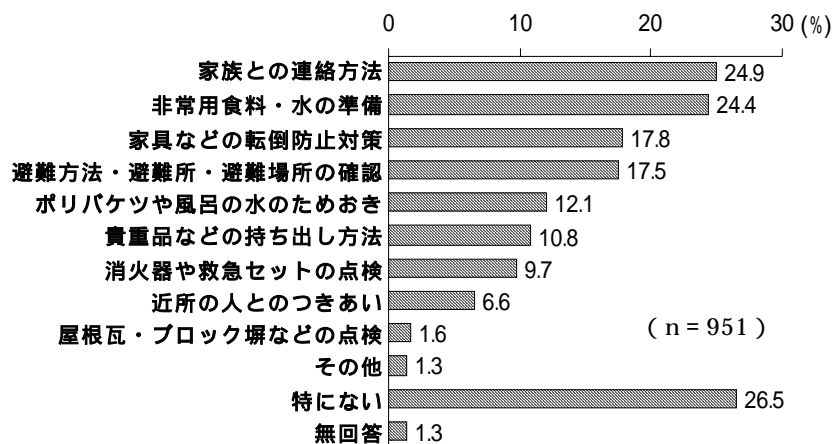


震災時の不安としては、「建物の倒壊」(40.9%)が最も高く、「火災の発生」(40.3%)が僅差で続き上位2項目が4割を超える。

### (2) 震災時の備え

「家族との連絡方法」と「非常用食料・水の準備」が上位2項目だが、「特にない」も多い

問5 あなたの家庭で、大地震に備えて普段から特に心掛けていることを次の中から2つまで選んでください。

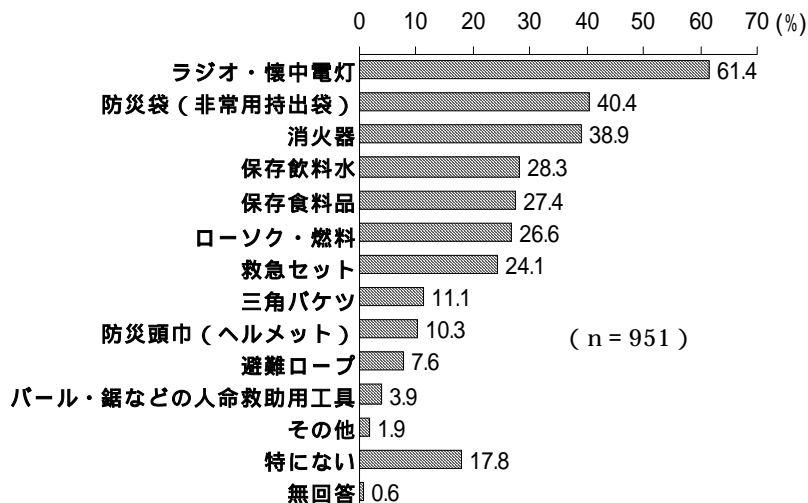


震災時の備えとしては、「家族との連絡方法」(24.9%)が最も高く、僅差で「非常用食料・水の準備」(24.4%)が続き、上位2項目がほぼ4人に1人となっている。

### (3) 家庭内で準備している防災用品・用具

「ラジオ・懐中電灯」が61.4%で突出

問6 災害に備え、あなたの家庭で現在準備している防災用品および用具を、次の中からいくつでも選んでください。

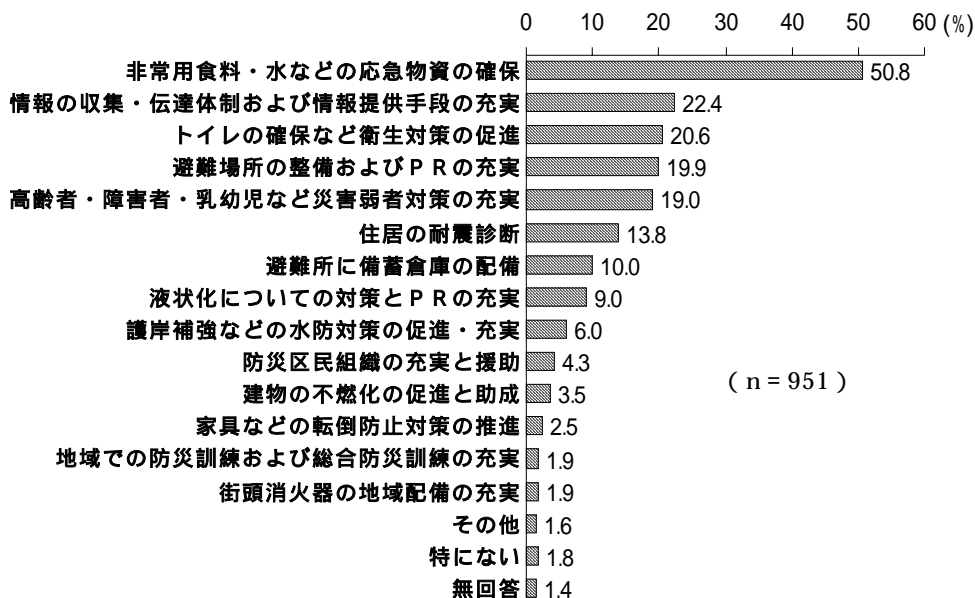


家庭内で準備している防災用品・用具では、「ラジオ・懐中電灯」(61.4%)が最も高く6割を超える。続く、「防災袋 (非常用持出袋)」(40.4%)と「消火器」(38.9%)は4割前後である。

### (4) 防災対策への要望

「非常用食料・水などの応急物資の確保」が50.8%で突出

問7 あなたが、大地震の際の防災対策として、江東区に特に力を入れてほしいことを次の中から2つまで選んでください。

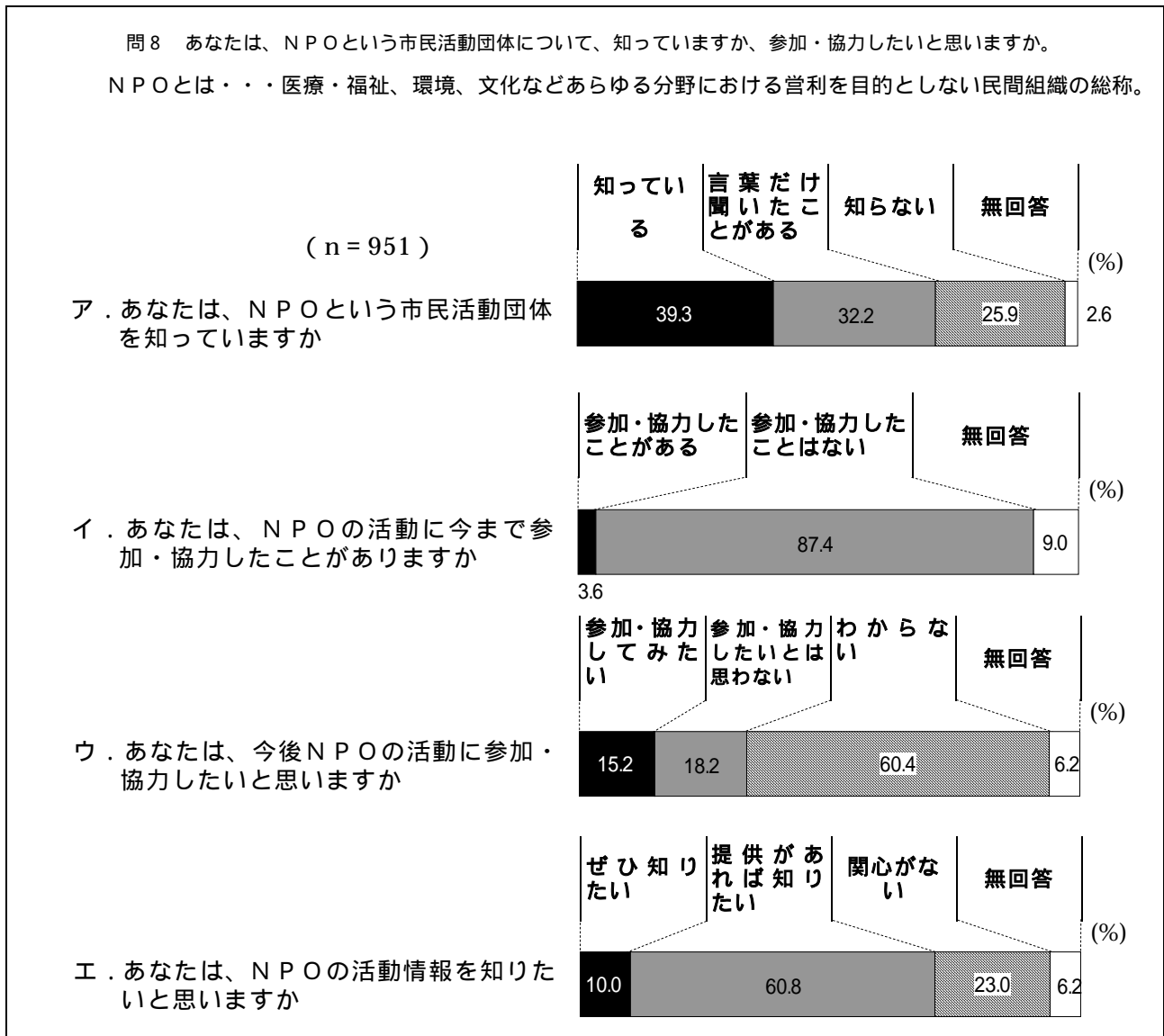


防災対策への要望としては、「非常用食料・水などの応急物資の確保」(50.8%)が半数を超え突出している。

## 【NPO】

### (1) NPOの認知度と参加・協力意向

NPOの認知度は高いものの、参加している人は少数



NPOの認知度としては、「知っている」(39.3%)が約4割で最も多く、次いで、「言葉だけ聞いたことがある」(32.2%)がほぼ3人に2人となっている。これら両者を合わせると、程度の差はあれ《知っている》(71.5%)人は7割を超え、これに対する「知らない」(25.9%)を大きく上回る。

これまでNPO活動に参加・協力をしたことがあるかを聞いた。その結果、「参加・協力したことがある」(3.6%)は少数に留まり、一方の「参加・協力したことはない」(87.4%)が8割台半ばを超え多数を占めている。

今後のNPO活動への参加・協力意向としては、「参加・協力してみたい」(15.2%)と「参加・協力したいとは思わない」(18.2%)は1割台半ばを超えてほぼ並んでおり、多くは「わからない」(60.4%)と回答している。

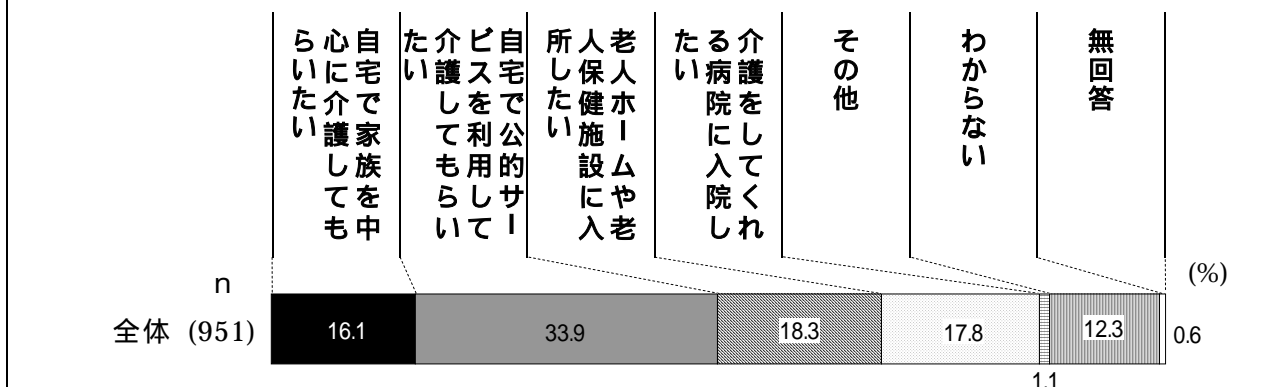
NPOの活動情報を知りたいかと聞いたところ、「ぜひ知りたい」(10.0%)と積極的な取得意向は1割で、多くは「提供があれば知りたい」(60.8%)と回答している。これら両者を合わせた、《知りたい》(70.8%)は7割を超える。逆に、「関心がない」(23.0%)は2割強である。

## 【介護保険】

### (1) 将来、介護してもらいたい場所

「自宅で公的サービスを利用して介護してもらいたい」が33.9%で最も多い

問9 将来、あなた自身が介護が必要となった場合、どこで介護してもらいたいですか。次の中から1つだけ選んでください。

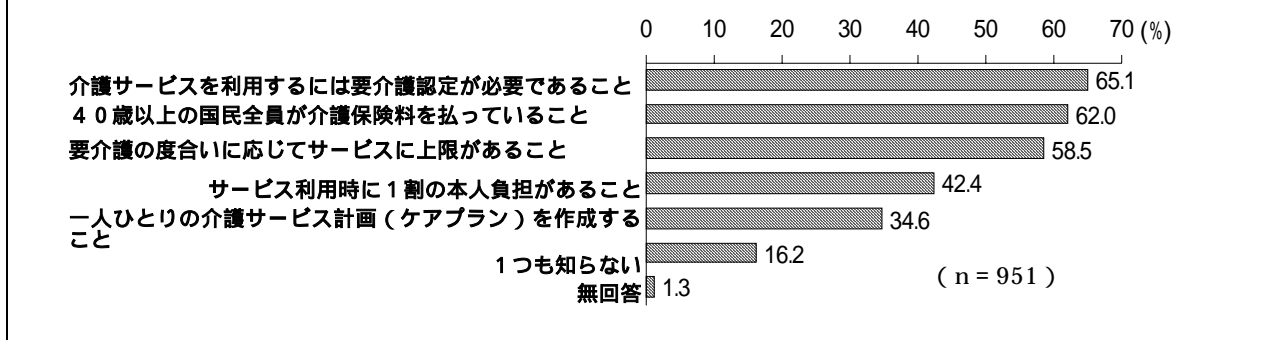


将来、介護してもらいたい場所では、「自宅で公的サービスを利用して介護してもらいたい」(33.9%)が3人に1人で最も多くなっている。このほか、「老人ホームや老人保健施設に入所したい」(18.3%)と「介護をしてくれる病院に入院したい」(17.8%)、「自宅で家族を中心に介護してもらいたい」(16.1%)は1割台半ばを超えほぼ同率で並ぶ。

### (2) 介護保険の内容認知状況

「介護サービスを利用するには要介護認定が必要であること」が65.1%でトップ

問10 介護保険について、あなたは次のことを知っていましたか。知っているものをすべて選んでください。

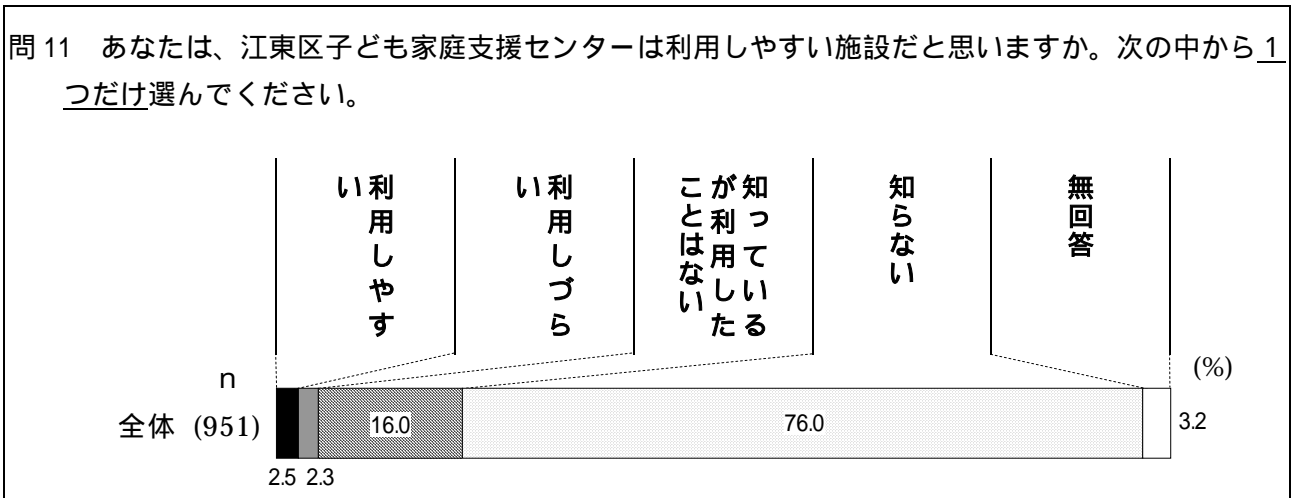


介護保険の内容の認知状況を聞いたところ、「介護サービスを利用するには要介護認定が必要であること」(65.1%)が6割台半ばを超え最も高く、「40歳以上の国民全員が介護保険料を払っていること」(62.0%)と「要介護の度合いに応じてサービスに上限があること」(58.5%)が6割前後で続く。なお、「1つも知らない」(16.2%)は1割台半ばとなっている。

## 【子育て支援】

### (1) 江東区子ども家庭支援センターの利用のしやすさ

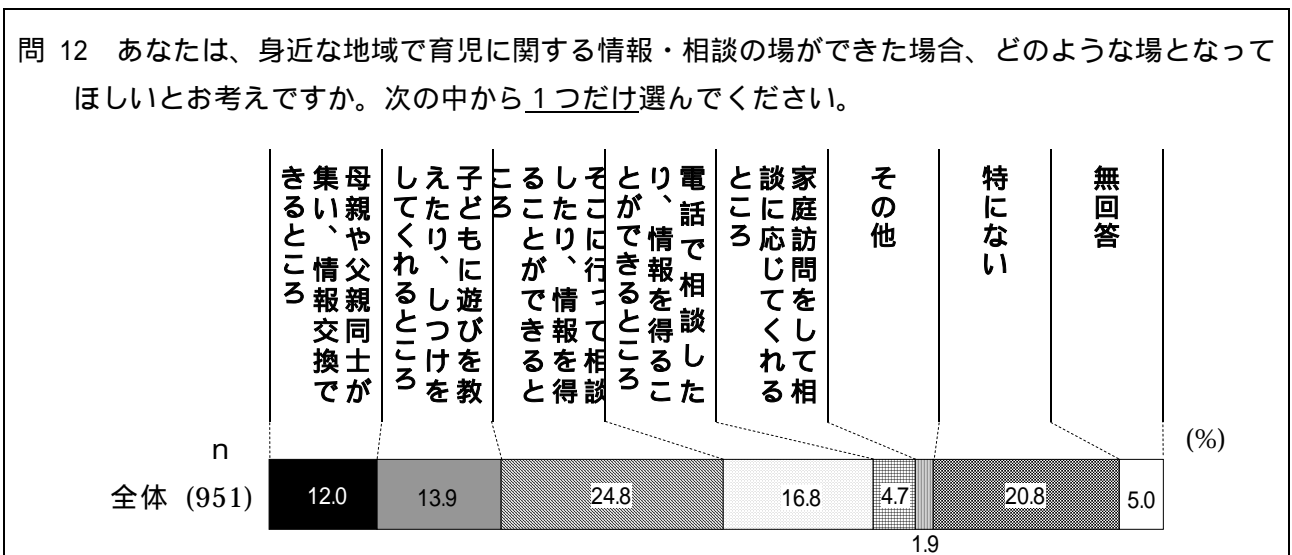
「知っているが利用したことはない」が 16.0%あるものの、「知らない」が 76.0%と大半を占める



江東区子ども家庭支援センターを「利用しやすい」(2.5%)と「利用しづらい」(2.3%)はほぼ同率で並び、「知っているが利用したことはない」(16.0%)が1割台半ばを超える。大半は「知らない」(76.0%)と回答している。

### (2) 育児に関する情報・相談場所への要望

「そこに行って相談したり、情報を得ることができるところ」がほぼ4人に1人で最も多い

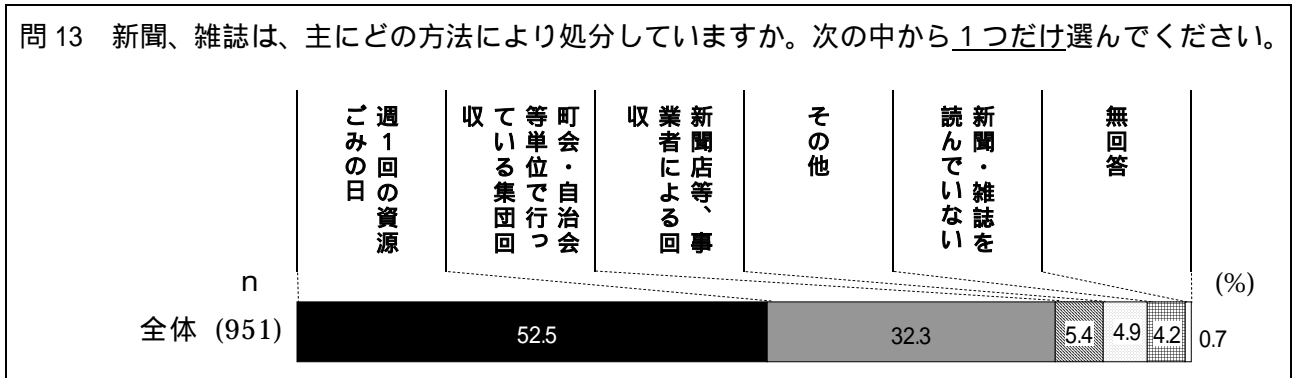


育児に関する情報・相談場所への要望としては、「そこに行って相談したり、情報を得ることができるところ」(24.8%)がほぼ4人に1人と最も高く、「電話で相談したり、情報を得ることができるところ」(16.8%)が続く。

## 【ごみ・リサイクル】

### (1) 新聞、雑誌の処分方法

「週1回の資源ごみの日」が52.5%で半数を超える

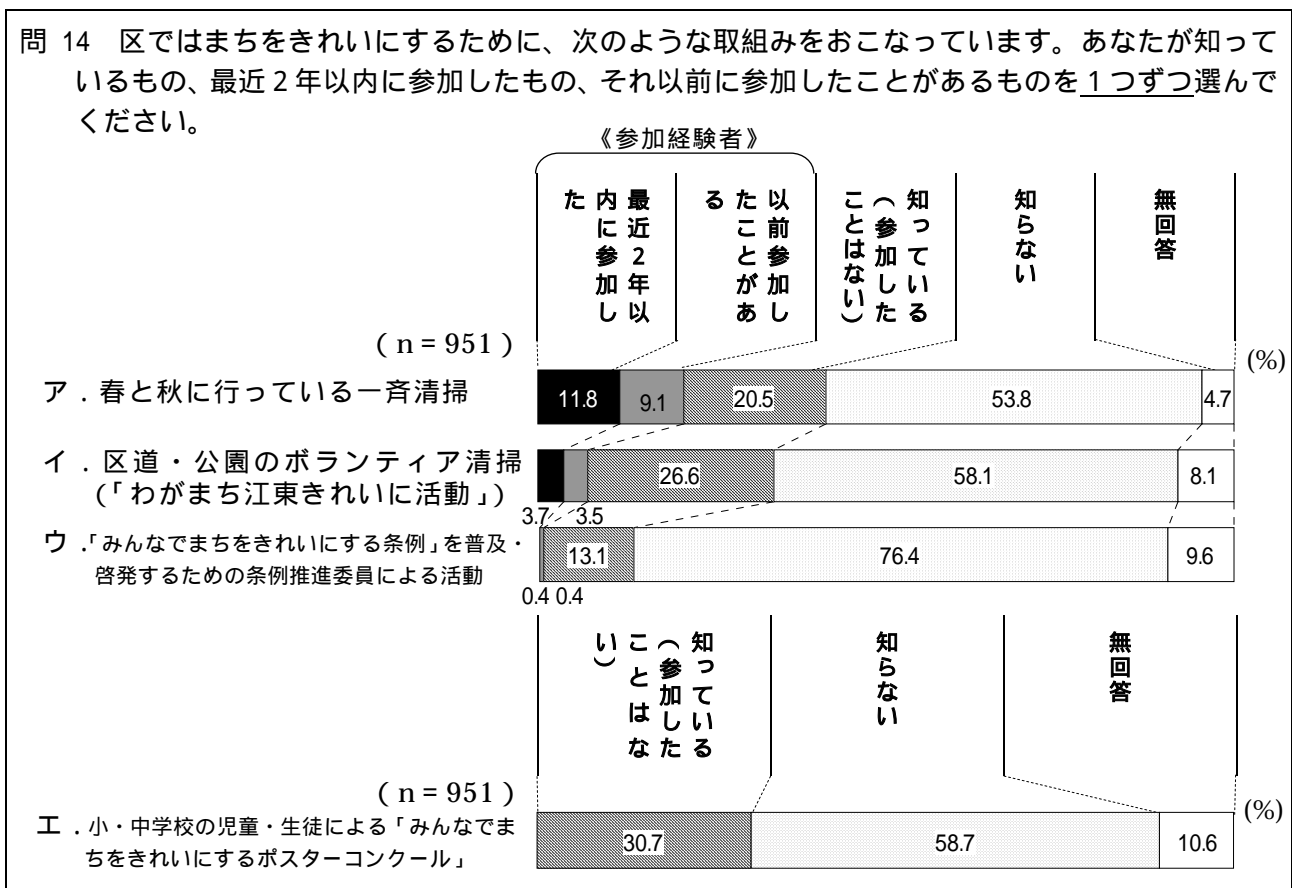


新聞、雑誌の処分方法としては、「週1回の資源ごみの日」(52.5%)が半数を超え最も多い。続く、「町会・自治会等单位で行っている集団回収」(32.3%)はほぼ3人に1人である。

## 【美しいまちづくり】

### (1) 区の美化活動への参加状況

“春と秋に行っている一斉清掃”への《参加経験者》は2割を超える



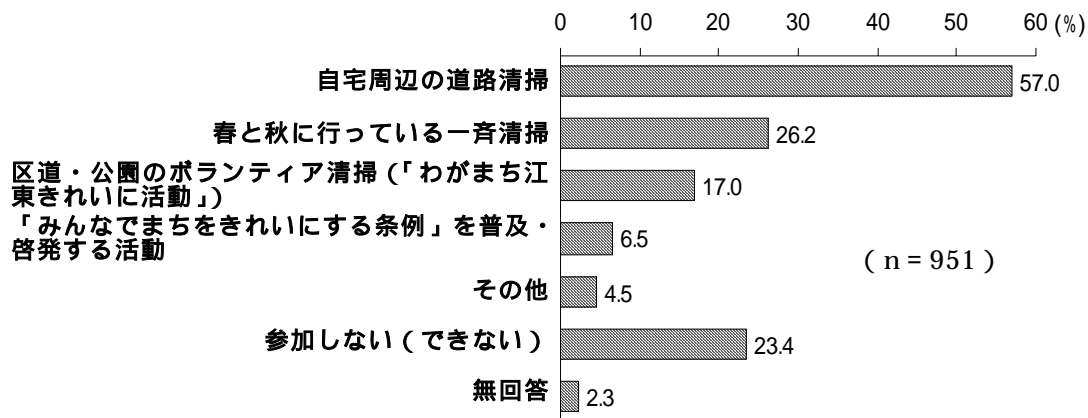
「最近2年以内に参加した」と「以前参加したことがある」を合わせて、《参加経験者》とすると、最も高いのは、“春と秋に行っている一斉清掃”(20.9%)で2割を超える。

“小・中学校の児童・生徒による「みんなでまちをきれいにするポスターコンクール」”は、「知っている(参加したことはない)」(30.7%)が3割強であるのに対し、「知らない」(58.7%)が約6割で後者が上回っている。

## (2) まちの美化活動への参加意向

「自宅周辺の道路清掃」が57.0%で突出

問 15 あなたは、まちをきれいにするために、どんな活動になら参加することができますか。次の中からすべて選んでください。



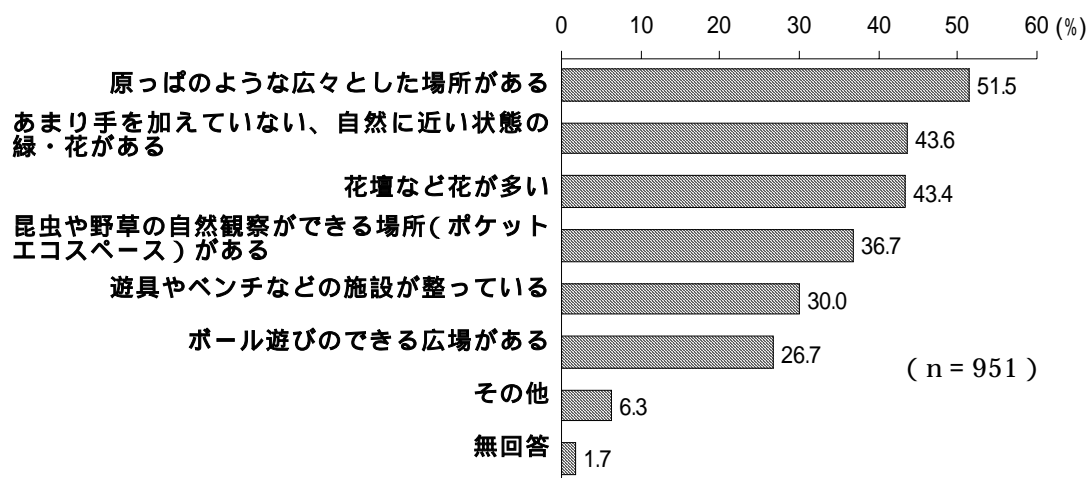
まちの美化活動への参加意向としては、「自宅周辺の道路清掃」(57.0%)が5割台半ばを超え突出している。続く「春と秋に行っている一斉清掃」(26.2%)は2割台半ばを超えるが、その一方で、「参加しない(できない)」(23.4%)も比較的高い。

## 【公園】

### (1) 公園・河川敷への要望

「原っぱのような広々とした場所がある」が半数を超えトップ

問 16 近くにある公園や河川敷(親水公園など)が、どのようであったらよいとあなたは考えますか。次の中から3つ以内で選んでください。



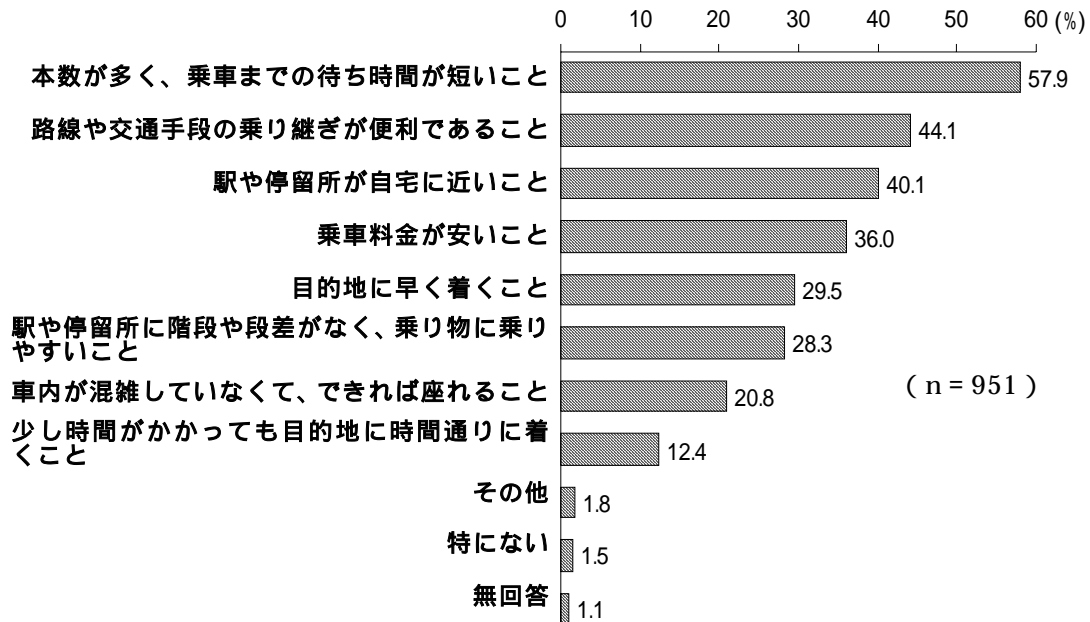
公園・河川敷への要望としては、「原っぱのような広々とした場所がある」(51.5%)が半数を超え最も高くなっている。

## 【交通】

### (1) 公共交通機関への要望

「本数が多く、乗車までの待ち時間が短いこと」が57.9%で突出

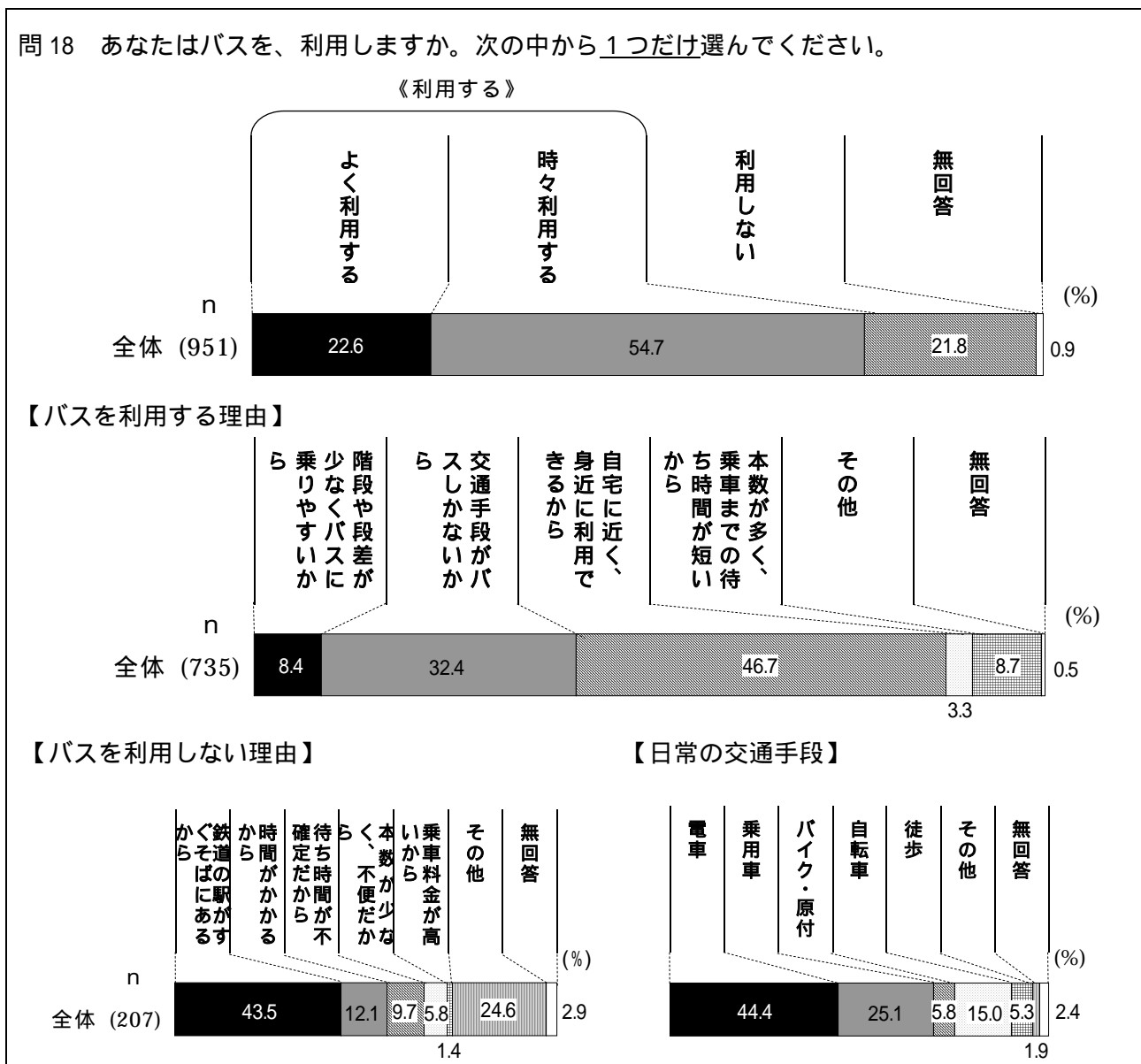
問 17 鉄道、バス等の公共交通機関を利用する際に、どのようなことを望みますか。次の中からあてはまるものを3つ以内で選んでください。



公共交通機関への要望としては、「本数が多く、乗車までの待ち時間が短いこと」(57.9%)が約6割で突出している。以下、「路線や交通手段の乗り継ぎが便利であること」(44.1%)と「駅や停留所が自宅に近いこと」(40.1%)が4割台、「乗車料金が安いこと」(36.0%)が3割台半ばを超えている。

## (2) バスの利用状況

《利用する》は77.3%で多数を占める



バスの利用状況では、「よく利用する」(22.6%)と最も多い「時々利用する」(54.7%)を合わせた、《利用する》(77.3%)は7割台半ばを超え多数を占める。逆に、「利用しない」(21.8%)は2割強である。

《利用する》と回答した人にその理由を聞いた。その結果、「自宅に近く、身近に利用できるから」(46.7%)が4割台半ばを超え最も多くなっている。続く、「交通手段がバスしかないから」(32.4%)はほぼ3人に1人である。

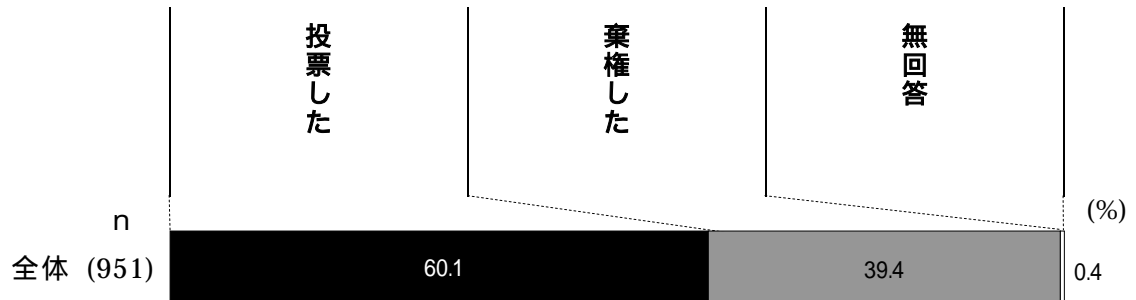
「利用しない」と回答した人に、その理由と日常の交通手段を聞いた。バスを利用しない理由としては、「鉄道の駅がすぐそばにあるから」(43.5%)が4割を超え突出している。日常の交通手段では、「電車」(44.4%)が4割台半ばに近く最も多くなっており、「乗用車」(25.1%)が4人に1人で続く。

【選挙】

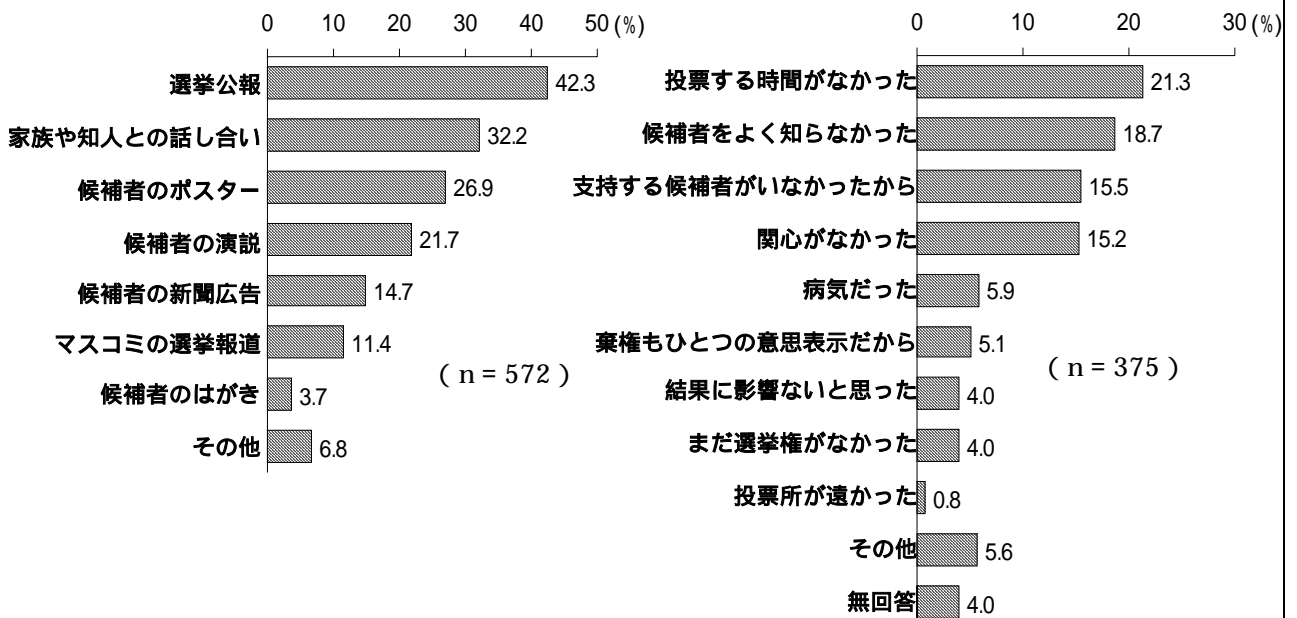
(1) 江東区議会議員・区長選挙の投票の有無

「投票した」が60.1%で、「棄権した」を上回る

問 19 平成15年4月27日は、江東区議会議員、江東区長選挙の投票日でしたが、あなたは投票しましたか。



【候補者を選ぶのに役立つもの】(2つ以内で回答) 【棄権した理由】



平成15年4月27日に執行された、江東区議会議員、江東区長選挙における投票の有無を聞いた。その結果、「投票した」(60.1%)は6割を超え、「棄権した」(39.4%)を上回っている。

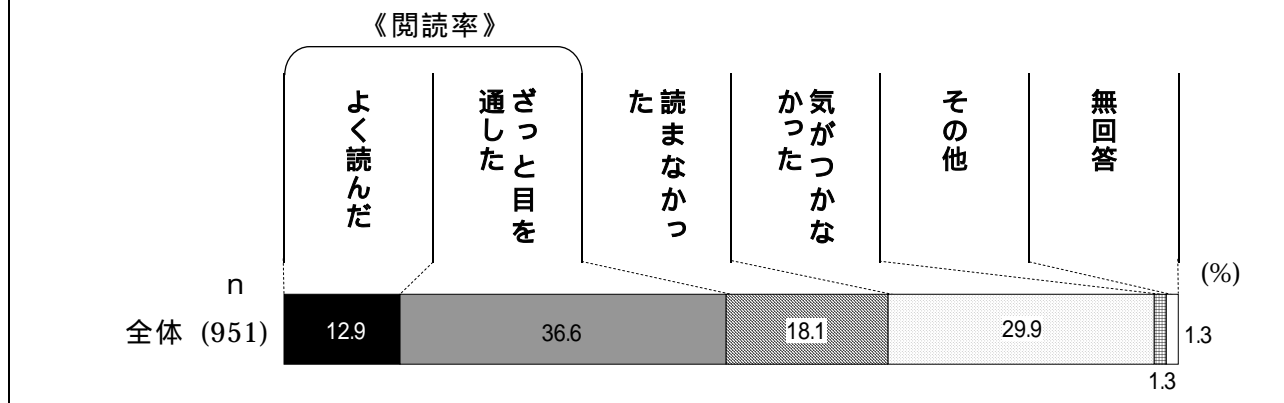
「投票した」と回答した人に、候補者を選ぶのに役立つものを聞いた。その結果、「選挙公報」(42.3%)が4割を超え突出している。

「棄権した」と回答した人に、その理由を聞いた結果、「投票する時間がなかった」(21.3%)が2割を超え最も高く、続く、「候補者をよく知らなかった」(18.7%)が2割に近い。

## (2)「選挙公報」の閲読度

《閲読率》は 49.5%

問 20 区の選挙管理委員会では、江東区議会議員、江東区長選挙の「選挙公報」を新聞折り込みや区内各施設、区内各駅に公報スタンドを設置し配布しましたが、あなたはお読みにになりましたか。次の中から 1つだけ選んでください。



「選挙公報」の閲読度としては、「よく読んだ」(12.9%)は1割強に留まるものの、「ざっと目を通した」(36.6%)は3割台半ばを超え多く、これら両者を合わせた、《閲読率》(49.5%)は半数に近い。

【長期基本計画】

(1) 過去1年間に参加した生涯学習・スポーツ

《参加経験者》は“ 伝統文化・芸能（祭りなど）” が最も多く 11.8%

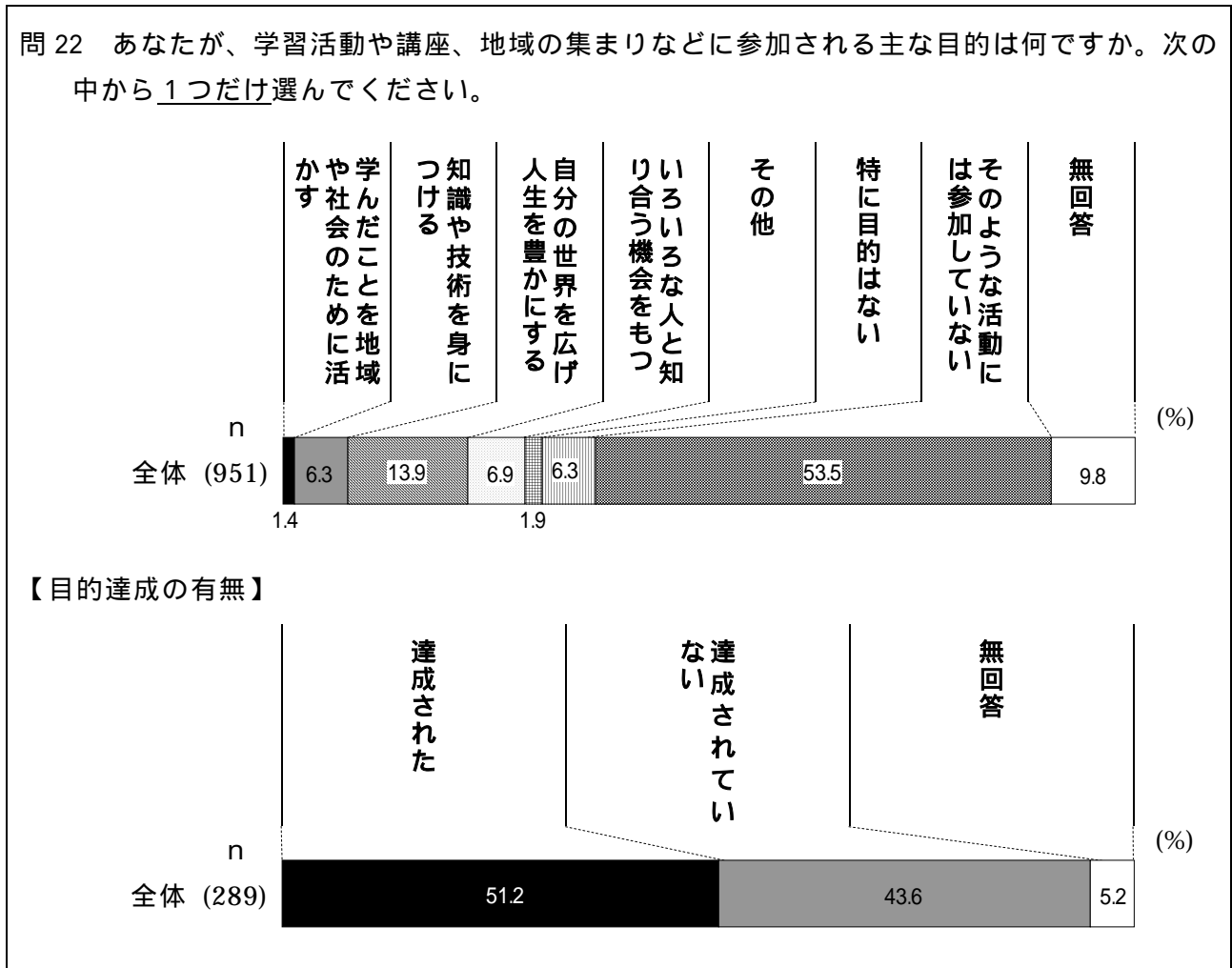
問 21 あなたは、この1年間に次の各分野の学習活動や講座、地域の集まりなどに参加したことがありますか。分野ごとに1つずつ選んでください。

	初めて参加	以前から参加	参加しない (無回答)	
ア．趣味（茶道・生け花・書道など）	1.8%	5.0%	86.0%	7.2%
イ．パソコン	2.5%	2.2%	87.1%	8.2%
ウ．娯楽（囲碁・将棋など）	0.4%	0.1%	90.7%	8.7%
エ．教養（語学・歴史・文学など）	1.5%	1.4%	88.9%	8.3%
オ．芸術・文化（絵画・音楽など）	1.3%	5.5%	85.8%	7.5%
カ．職業・技術（資格取得）	0.9%	1.8%	88.7%	8.5%
キ．国際理解・国際協力	0.4%	0.8%	90.2%	8.5%
ク．ボランティア活動	1.5%	3.9%	86.5%	8.1%
ケ．伝統文化・芸能（祭りなど）	1.5%	10.3%	80.1%	8.1%
コ．レクリエーション（釣り、ハイキングなど）	0.5%	4.4%	86.5%	8.5%
サ．スポーツ（野球・テニスなど）	1.7%	6.8%	83.7%	7.8%

11 項目について過去1年間の参加状況を聞いたところ、「初めて参加」と「以前から参加」を合わせた《参加経験者》で最も多いのは、“ 伝統文化・芸能（祭りなど）”（11.8%）で1割を超える。逆に、「参加しない」はいずれの項目でも多数を占めているが、中でも、“ 娯楽（囲碁・将棋など）”（90.7%）と“ 国際理解・国際協力”（90.2%）は9割を超える。

## (2) 生涯学習活動に参加する目的

「自分の世界を広げ人生を豊かにする」が 13.9%だが、「活動には参加していない」が過半数

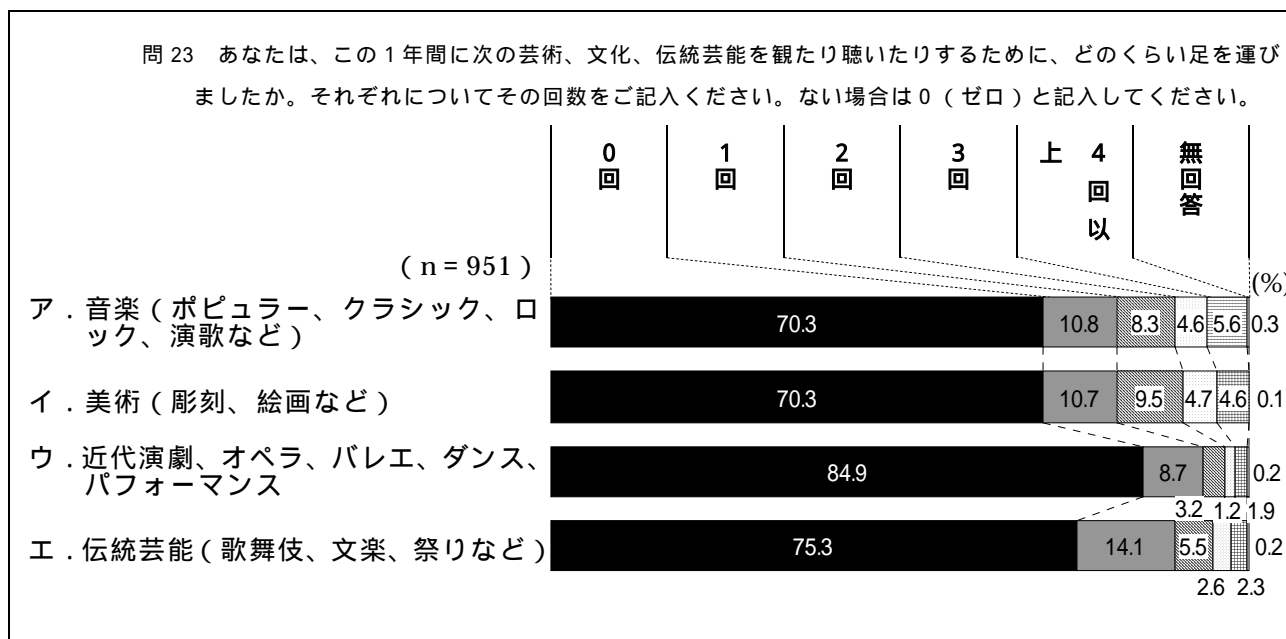


生涯学習に参加する目的としては、「自分の世界を広げ人生を豊かにする」(13.9%)が多く、以下、「いろいろな人と知り合う機会をもつ」(6.9%)と「知識や技術を身につける」(6.3%)となっている。また、「そのような活動には参加していない」(53.5%)が半数を超えている。

何らかの目的を持っていると回答した方に、その目的が達成できたかどうかを聞いた。その結果、「達成された」(51.2%)は半数を超え、「達成されていない」(43.6%)を上回っている。

### (3) 芸術、文化、伝統芸能の鑑賞頻度

比較的多く鑑賞されているのは、“音楽”や“美術”など

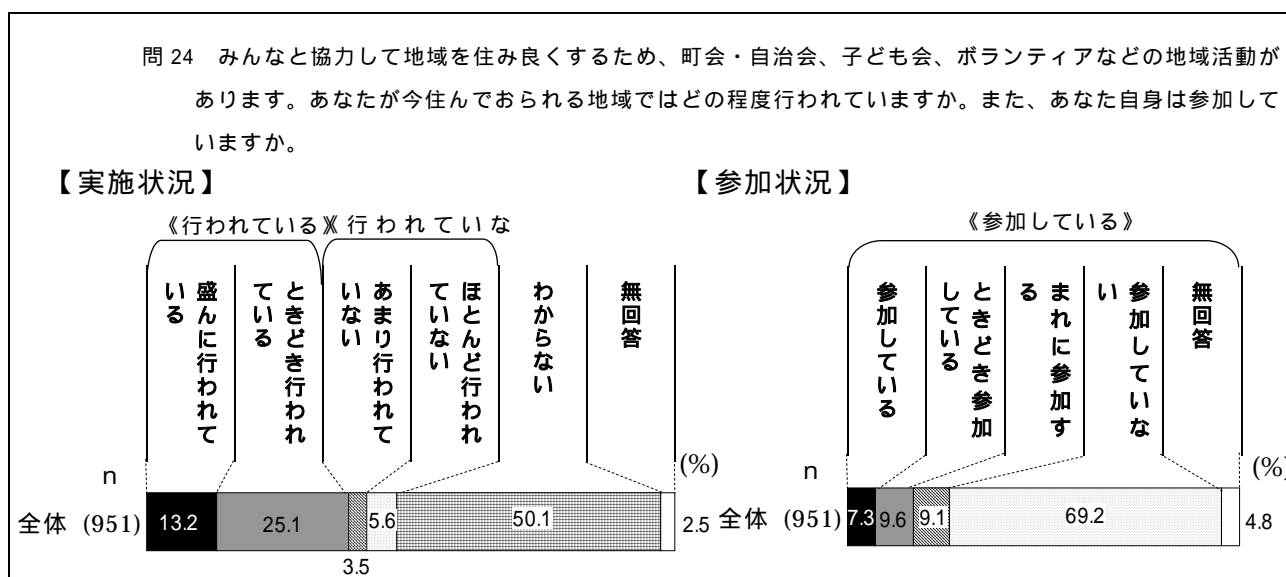


1回以上鑑賞をしているものは、“美術（彫刻、絵画など）”（29.5%）と“音楽（ポピュラー、クラシック、ロック、演歌など）”（29.3%）が3割弱で比較的高く、“伝統芸能（歌舞伎、文楽、祭りなど）”（24.5%）がほぼ4人に1人となっている。

なお、平均の鑑賞回数は“音楽（ポピュラー、クラシック、ロック、演歌など）”が1.02回で最も多い。

### (4) 地域活動の実施状況・参加状況

《行われている》は38.3%いるものの、多くは「わからない」と回答

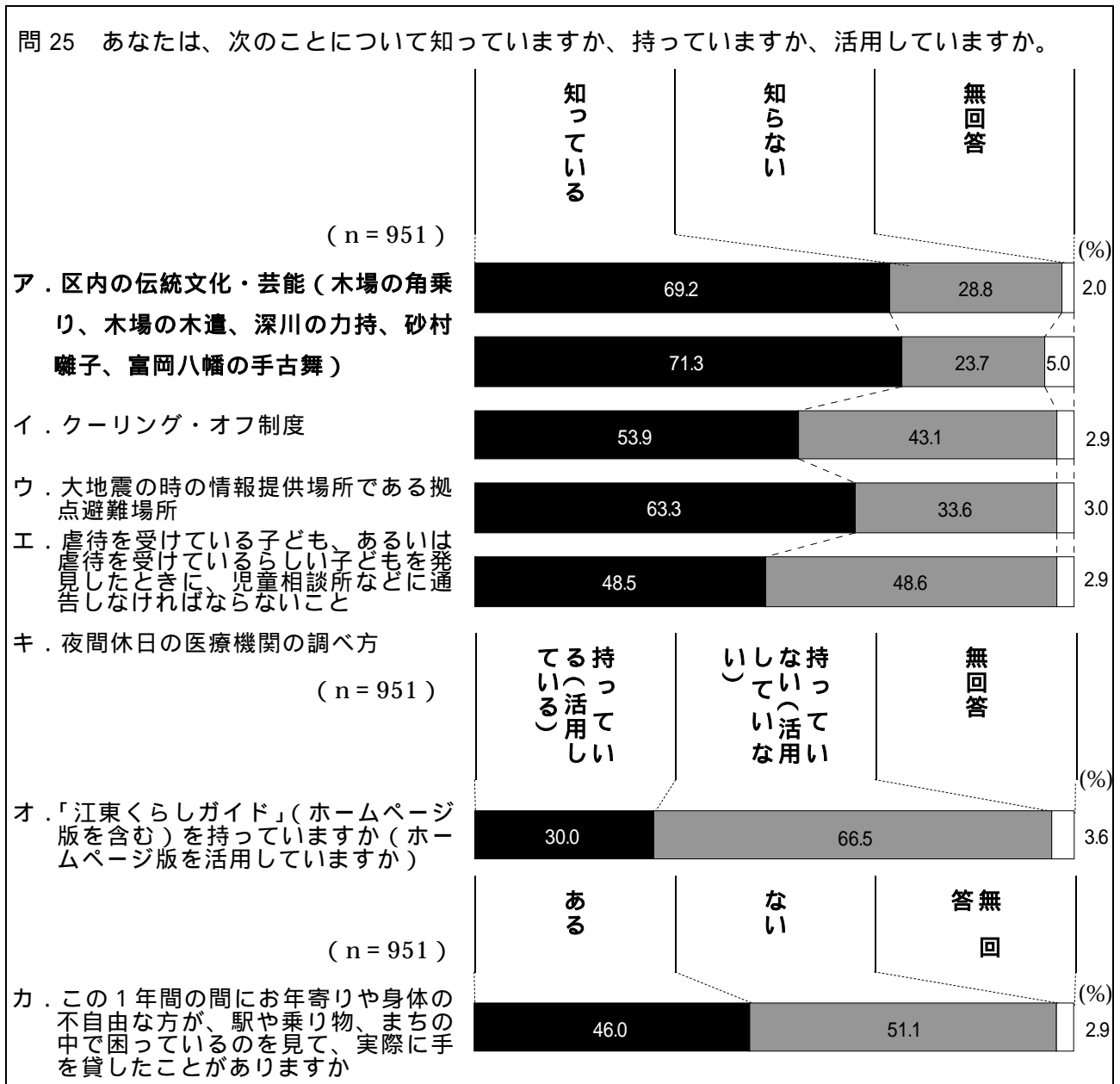


地域活動の実施状況を聞いたところ、「盛んに行われている」（13.2%）と「ときどき行われている」（25.1%）を合わせた、《行われている》（38.3%）は約4割となる。

参加状況を聞いたところ、「参加している」（7.3%）と「ときどき参加している」（9.6%）、「まれに参加する」（9.1%）を合わせた、《参加している》（26.0%）は2割台半ばを超える。

(5) 区事業等の認知度、活用状況

認知度が高いのは、“クーリング・オフ制度”と“区内の伝統文化・芸能”で7割前後



区事業等の認知度、活用状況を聞いたところ、「知っている」は“クーリング・オフ制度”（71.3%）が7割を超え最も高く、僅差で“区内の伝統文化・芸能（木場の角乗り、木場の木遣、深川の力持、砂村囃子、富岡八幡の手古舞）”（69.2%）が続く。

“「江東くらしガイド」（ホームページ版を含む）を持っていますか（ホームページ版を活用していますか）”については、「持っている(活用している)」(30.0%)が3割であるのに対し、「持っていない(活用していない)」(66.5%)が6割台半ばを超え、前者の約2倍になっている。

“この1年間の間にお年寄りや身体の不自由な方が、駅や乗り物、まちの中で困っているのを見て、実際に手を貸したことがありますか”については、「ある」(46.0%)が4割台半ばであるのに対し、「ない」(51.1%)が半数を超え、後者が若干上回っている。

## (6) 生活時間

平日の【自由時間】は平均 174 分。休日の【自由時間】は平均 307 分

問26 あなたの生活時間についておたずねします。次のことにどれぐらいの時間を使っていますか。平日と休日に分けてお答えください。ない場合は0（ゼロ）と記入してください。

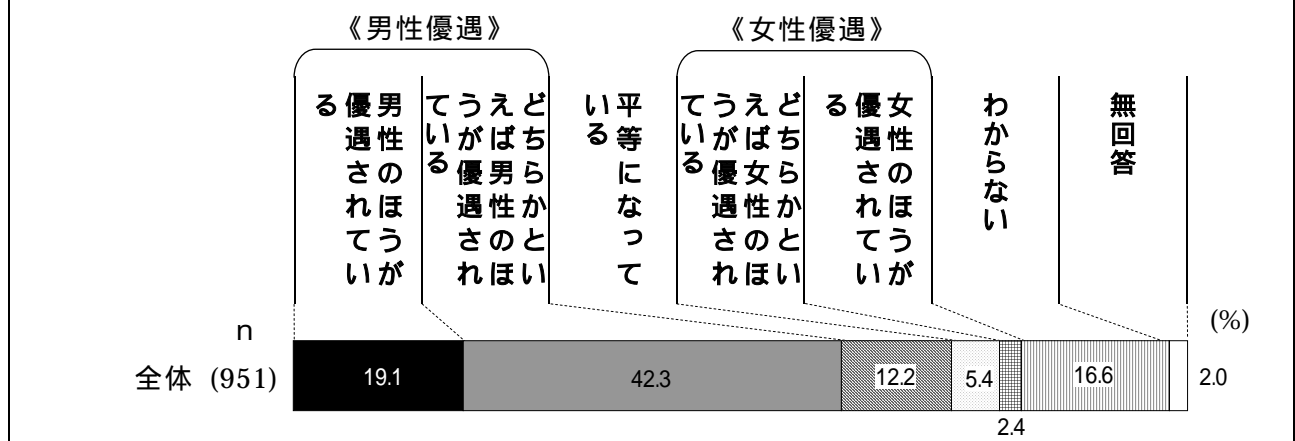
	自由時間	炊事	洗濯	掃除	介護	子育て	買物	通勤
平日	174 分	52 分	27 分	21 分	7 分	38 分	32 分	41 分
休日	307 分	53 分	31 分	32 分	5 分	58 分	65 分	4 分

【自由時間】が平日・休日ともに最も長く、平日で平均 174 分、休日で平均 307 分となっている。

## (7) 男女平等意識

《男性優遇》が 61.4%で多い

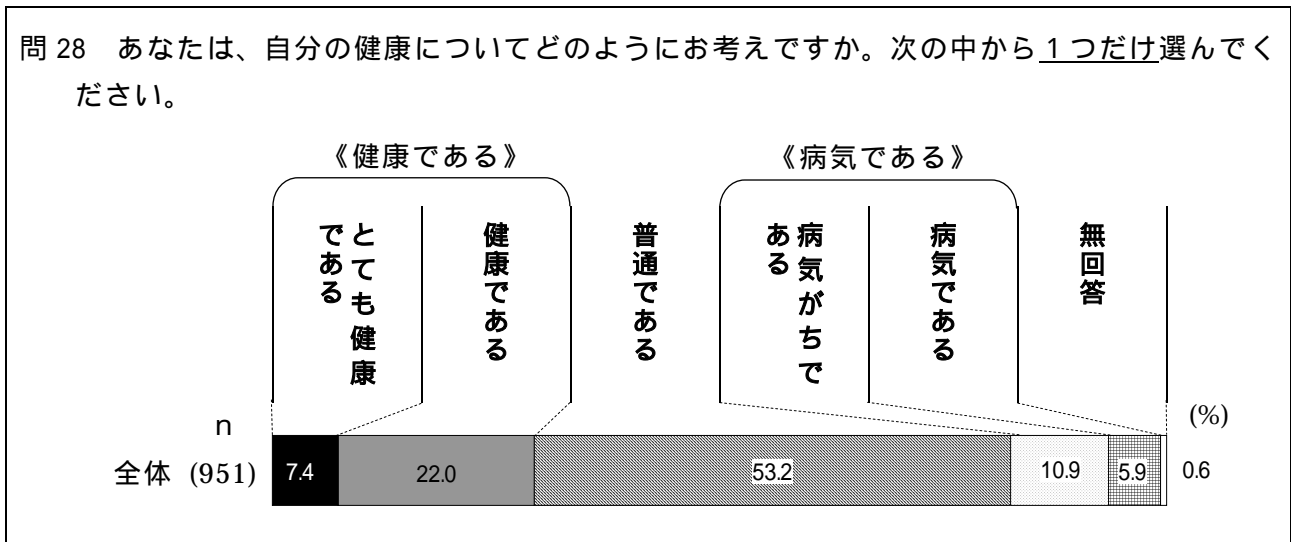
問 27 現在、男女の地位は平等になっていると思いますか。次の中から 1 つだけ選んでください。



男女平等意識では、「男性のほうが優遇されている」(19.1%)と「どちらかといえば男性のほう  
が優遇されている」(42.3%)を合わせた、《男性優遇》(61.4%)が6割強で多くなっている。

### (8) 自分の健康状態

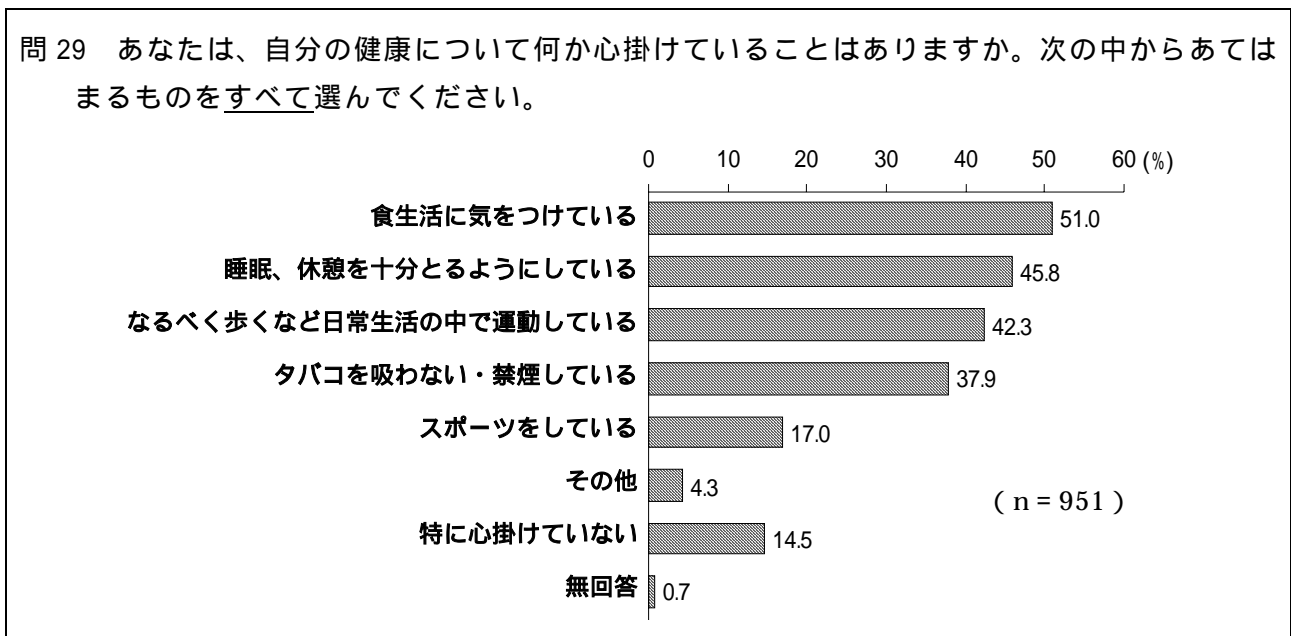
《健康である》は29.4%。「普通である」が53.2%で半数を超える



自分の健康状態について聞いたところ、「とても健康である」(7.4%)と「健康である」(22.0%)を合わせた、《健康である》(29.4%)は3割に近い。「普通である」(53.2%)は半数を超え最も多くなっている。

### (9) 健康についての心掛け

「食生活に気をつけている」が51.0%で半数を超えトップ

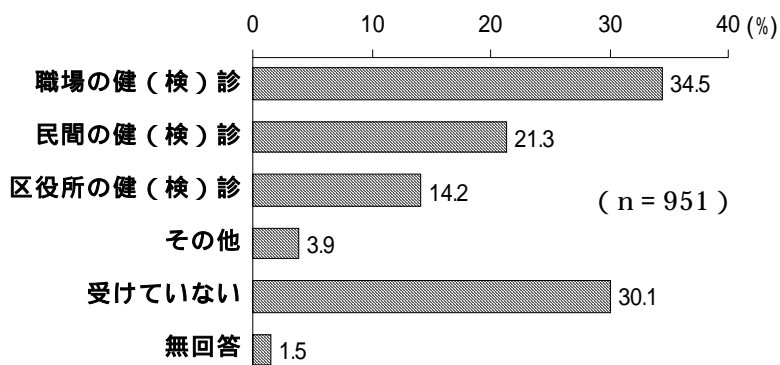


健康についての心掛けとしては、「食生活に気をつけている」(51.0%)が半数を超え最も高く、「睡眠、休憩を十分とるようにしている」(45.8%)と「なるべく歩くなど日常生活の中で運動している」(42.3%)が4割台、「タバコを吸わない・禁煙している」(37.9%)が3割台半ばを超え続く。

### (10) 健康診断受診の有無

「職場の健（検）診」が 34.5%であるものの、「受けていない」も 30.1%と比較的高い

問 30 あなたは、この 1 年間にどこで健康診断を受けましたか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

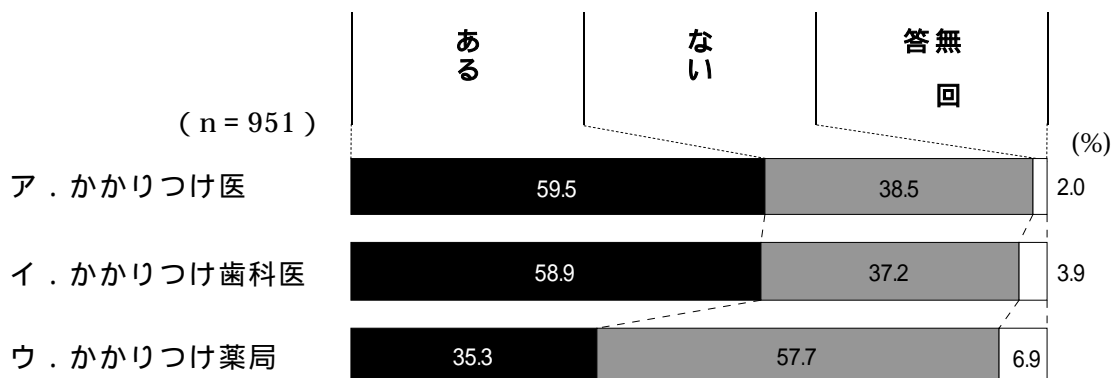


健康診断受診について聞いたところ、「職場の健（検）診」（34.5%）が 3 割台半ばに近く最も高く、「民間の健（検）診」（21.3%）、「区役所の健（検）診」（14.2%）が続く。逆に、「受けていない」（30.1%）も高く、3 割を超えている。

### (11) かかりつけ医・歯科医・薬局の有無

“かかりつけ医”と“かかりつけ歯科医”が「ある」は約 6 割

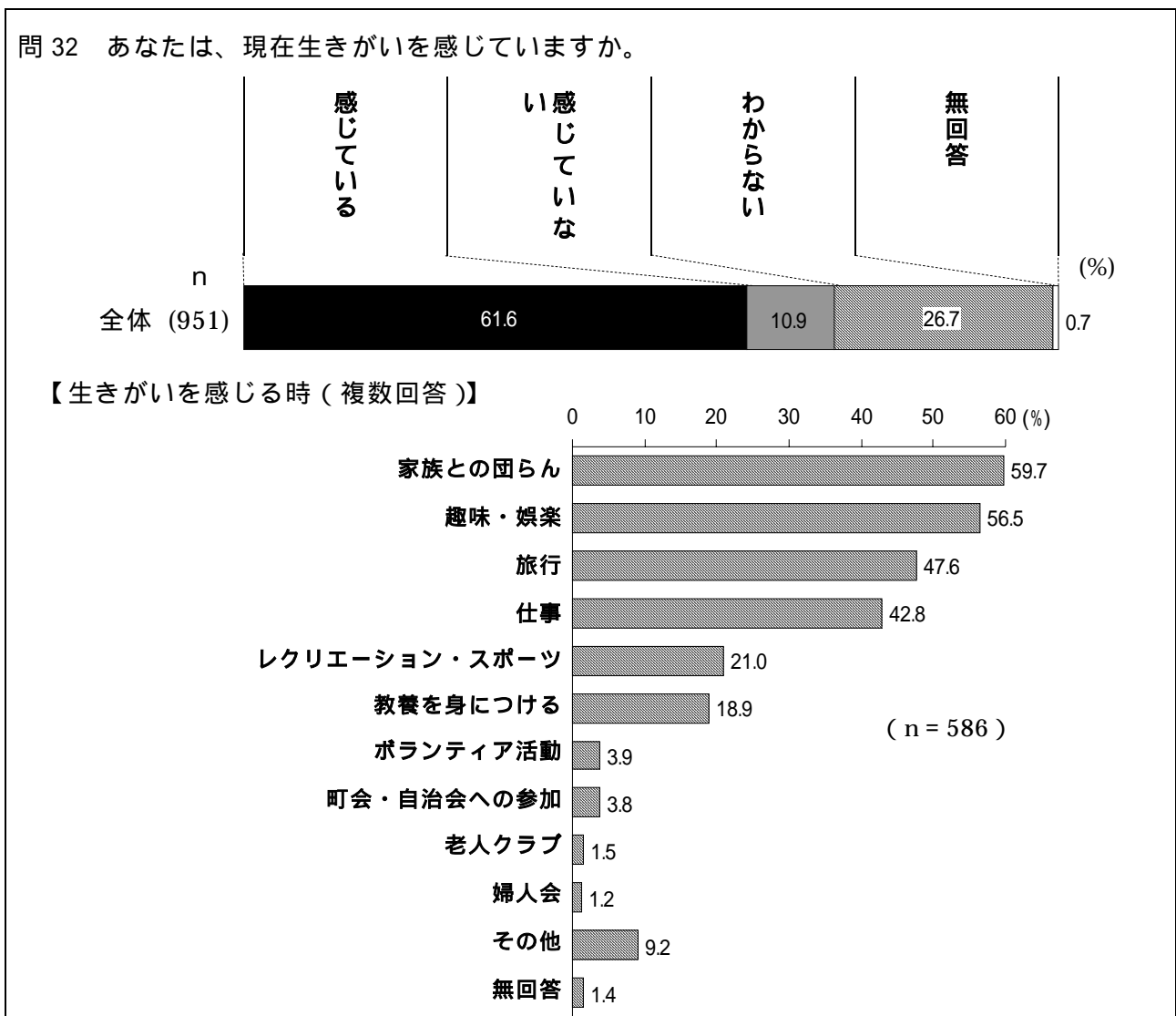
問 31 あなたは、かかりつけ医・歯科医・薬局がありますか。それぞれについてお答えください。



かかりつけ医・歯科医・薬局について、それぞれの有無を聞いた。その結果、「ある」は“かかりつけ医”（59.5%）と“かかりつけ歯科医”（58.9%）で約 6 割と多く、“かかりつけ薬局”（35.3%）は 3 割台半ばに留まる。そのため、「ない」では、“かかりつけ薬局”（57.7%）が 6 割に近い。

## (12) 生きがいの有無

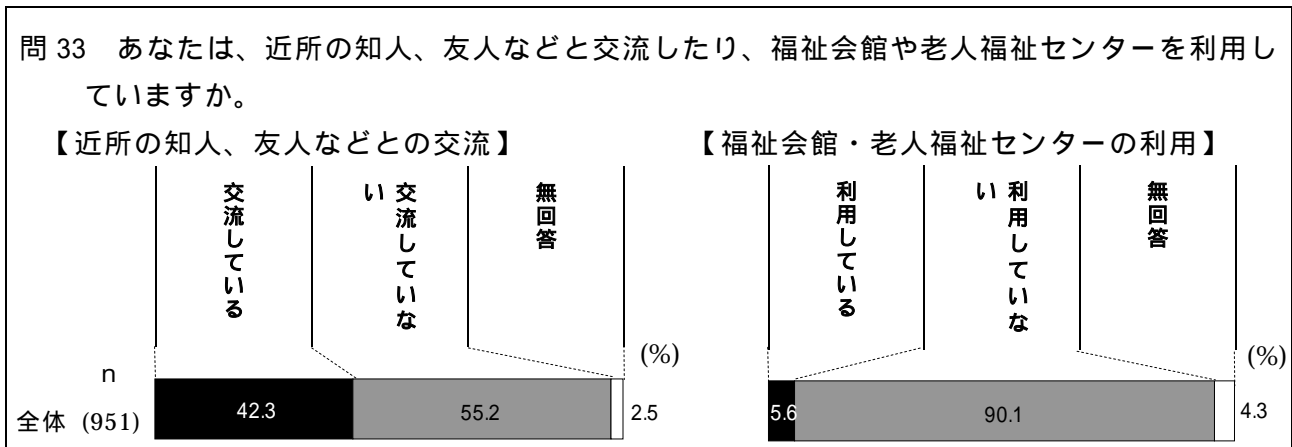
「感じている」が61.6%



生きがいを「感じている」(61.6%)は6割を超え、「感じていない」(10.9%)を上回っている。「感じている」と回答した人に、生きがいを感じる時を聞いた。その結果、「家族との団らん」(59.7%)が6割弱と最も高く、これに僅差で「趣味・娯楽」(56.5%)が続く。このほか、「旅行」(47.6%)と「仕事」(42.8%)が4割台、「レクリエーション・スポーツ」(21.0%)と「教養を身につける」(18.9%)が2割前後などとなっている。

**(13) 友人、知人などとの交流、福社会館・老人福祉センターの利用**

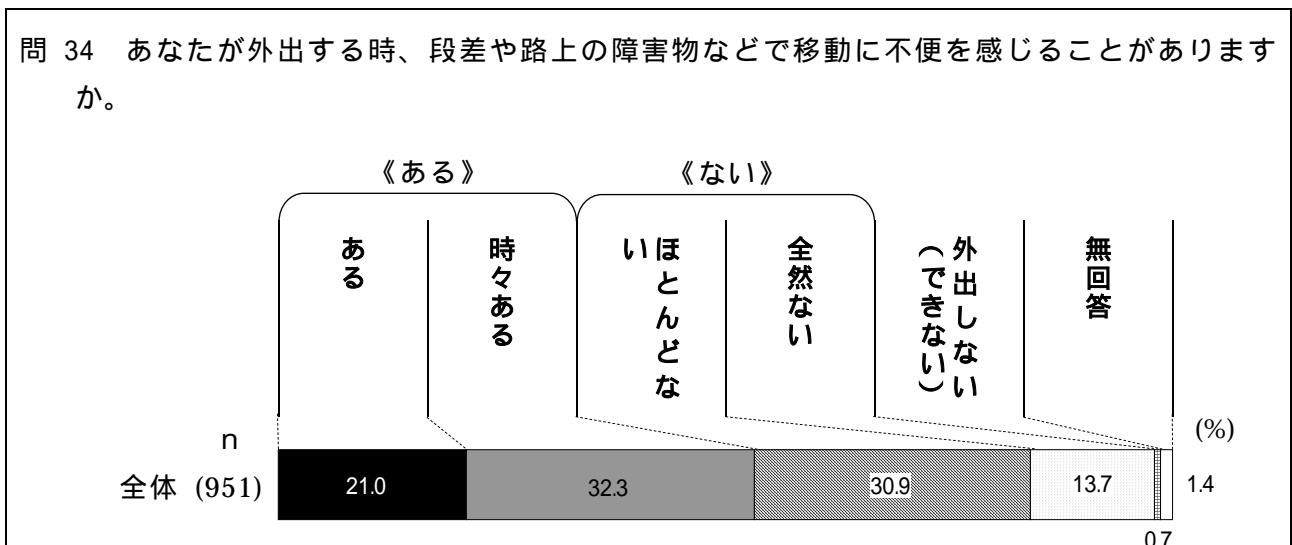
友人、知人などと「交流している」のは 42.3%



友人、知人などとの交流については、「交流している」(42.3%)が4割前半であるのに対し、「交流していない」(55.2%)が半数を超え、後者の方が多くなっている。次に、福社会館・老人福祉センターの利用では、「利用している」(5.6%)が少数となっており、「利用していない」(90.1%)が圧倒的多数を占めている。

**(14) 段差や路上の障害物などを不便に感じる経験**

不便を感じる経験が《ある》は 53.3%で半数を超える

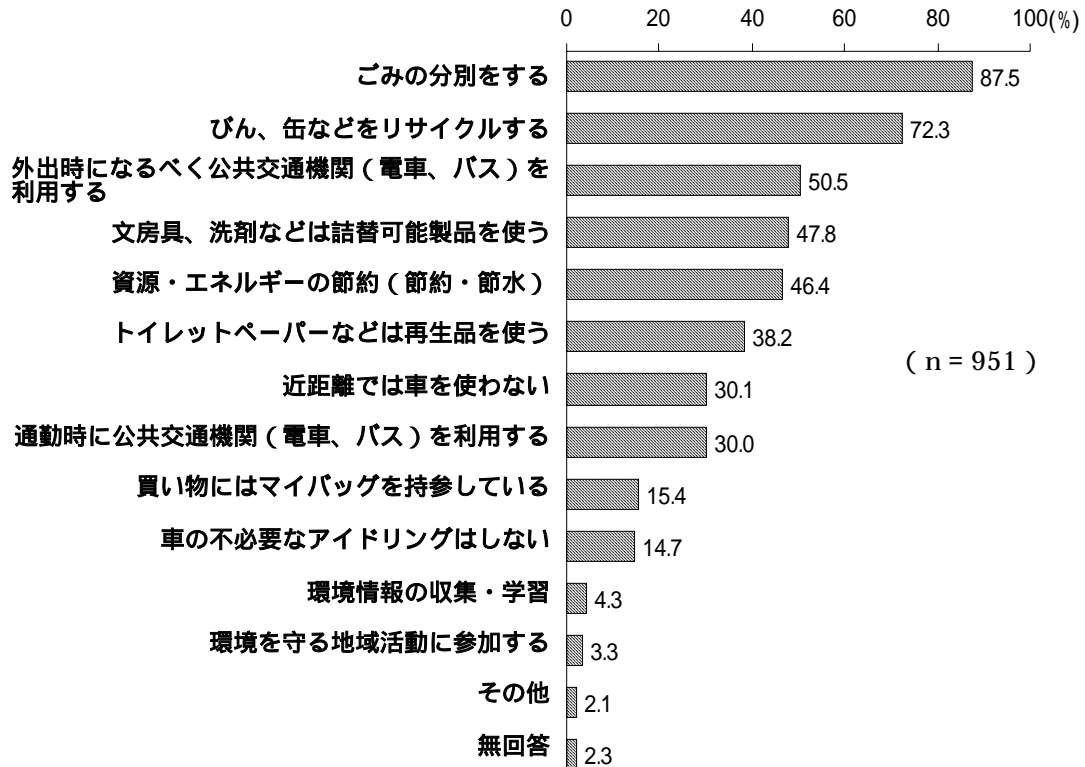


段差や路上の障害物などを不便に感じる経験が、「ある」(21.0%)は2割を超え、「時々ある」(32.3%)はほぼ3人に1人である。これら両者を合わせた、《ある》(53.3%)は半数を超える。

(15) 環境保全のために実行していること

「ごみの分別をする」が 87.5%でトップ

問35 あなたは、環境の保全のためにどのようなことをしていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

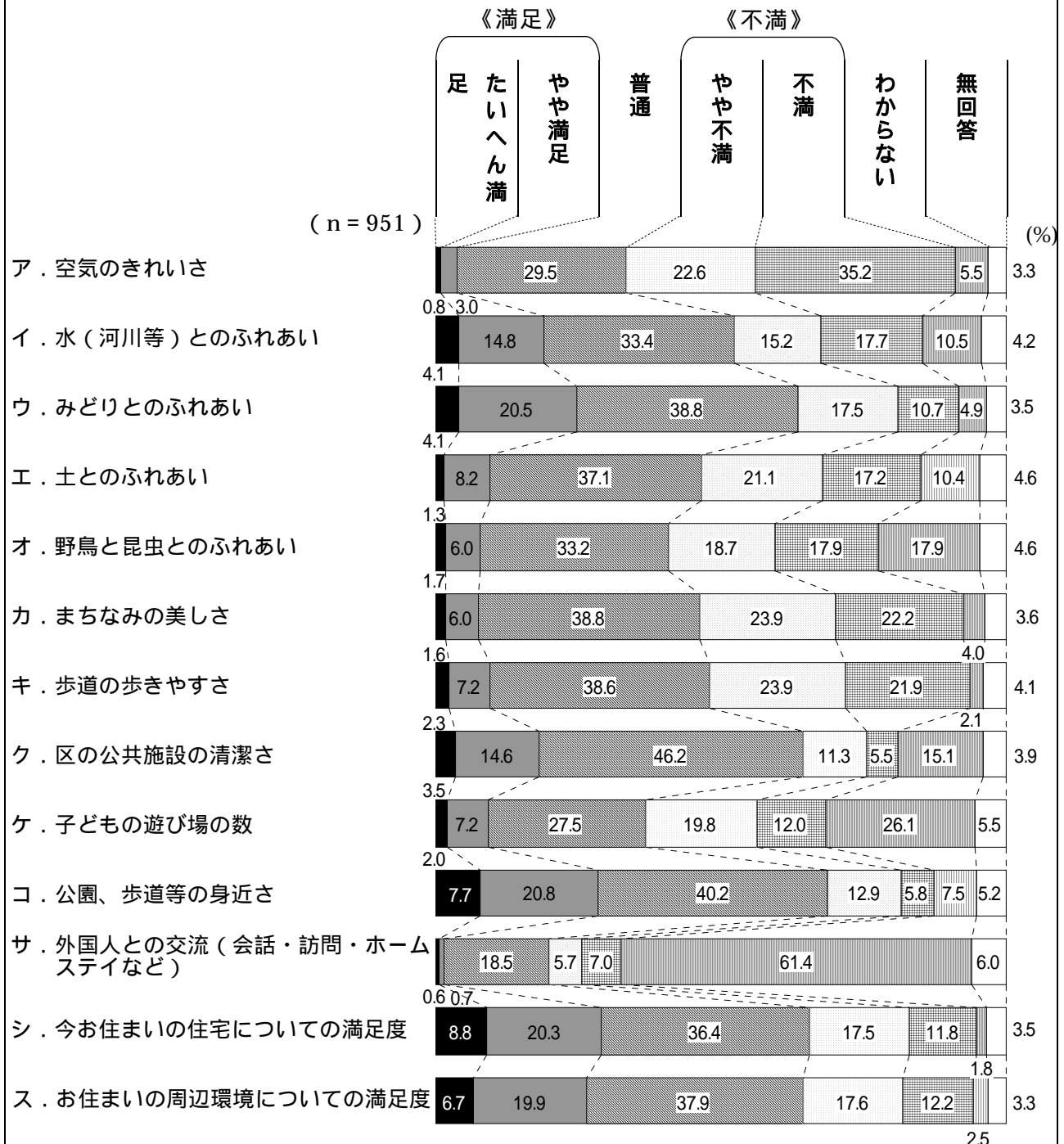


環境保全のために実行していることとしては、「ごみの分別をする」(87.5%)が8割台半ばを超え最も高く、続く、「びん、缶などをリサイクルする」(72.3%)が7割を超え、これら上位2項目が抜きん出ている。

(16) 生活環境評価

《満足》が高いのは、「今お住まいの住宅」や「公園、歩道等の身近さ」など

問 36 まちの環境や暮らしの快適さについておたずねします。項目ごとの満足度の度合いの中から、あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。

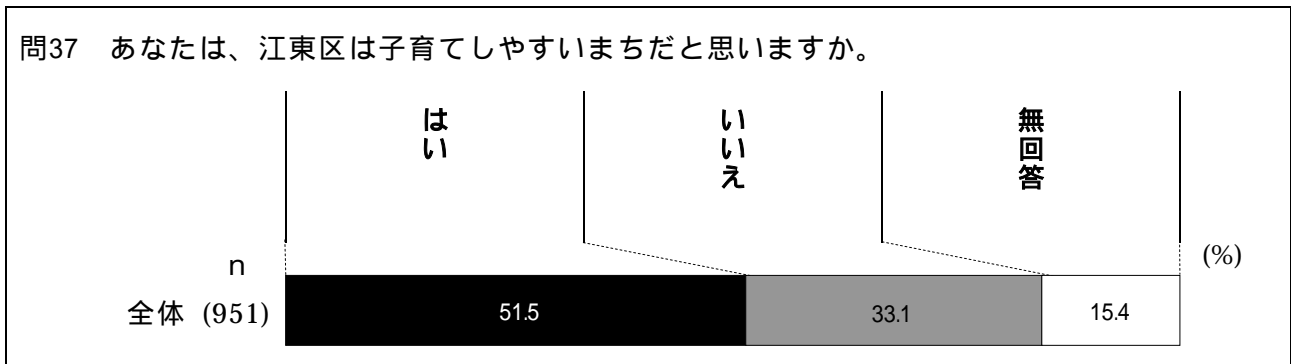


生活環境の満足度を13の項目に分け、それぞれの評価をたずねた。

「たいへん満足」と「やや満足」の評価を《満足》、「やや不満」と「不満」の評価を《不満》と仮定すると、《満足》では、「今お住まいの住宅についての満足度」(29.1%)と「公園、歩道等の身近さ」(28.5%)などが高くなっている。逆に、《不満》では、「空気のきれいさ」(57.8%)が半数を超え最も高い。

### (17) 子育てのしやすさ

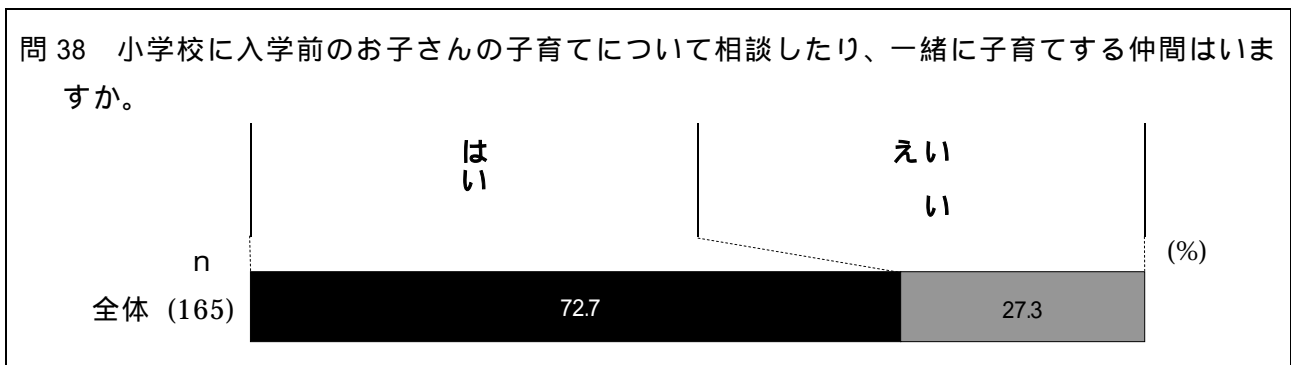
「はい」が51.5%で半数を超える



江東区が子育てしやすいまちかと聞いたところ、「はい」(51.5%)が半数を超え、「いいえ」(33.1%)を上回っている。

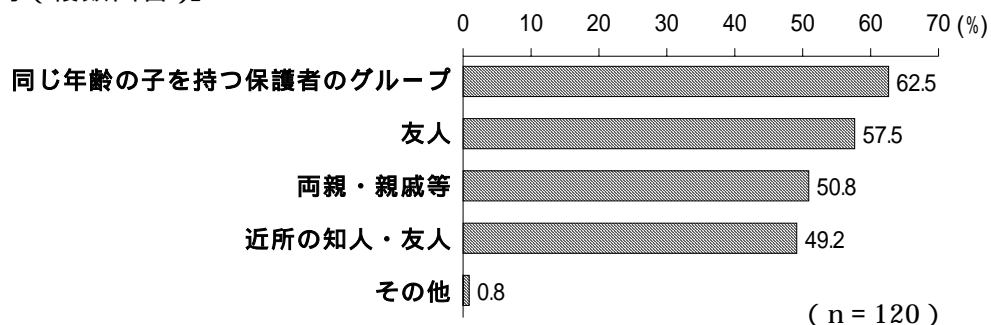
### (18) 子育て仲間の有無

「はい」が「いいえ」を上回る



(注) 図表は「小学校に入学前の子どもはいない」と「無回答」を除いて再集計した結果を掲載している。

【子育て仲間(複数回答)】



小学校に入学前のお子さんの子育てについて相談したり、一緒に子育てする仲間の有無を聞いたところ、「はい」(12.6%)が「いいえ」(4.7%)を上回っている。

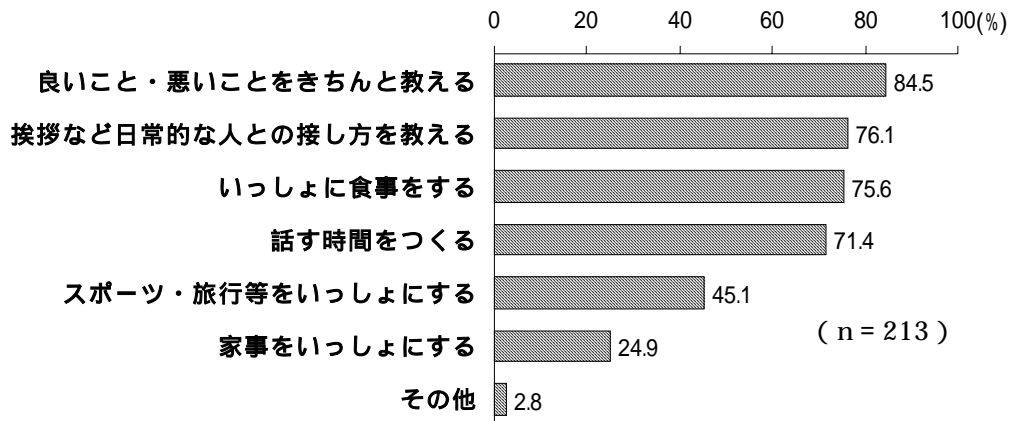
回答のうち、全体の数値から「小学校に入学前の子どもはいない」と「無回答」を除いて再集計をしてみると、「はい」(72.7%)は7割を超え、「いいえ」(27.3%)を大きく上回っている。

「はい」と回答した人にその仲間を聞いたところ、「同じ年齢の子を持つ保護者のグループ」(62.5%)が最も高く、「友人」(57.5%)、「両親・親戚等」(50.8%)も半数を超える。

### (19) 子どもとのコミュニケーションについての心掛け

「良いこと・悪いことをきちんと教える」ほか上位4項目が僅差で並ぶ

問 39 家庭でのお子さん（中学生まで）とのコミュニケーションについて、心掛けて実行していることは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。



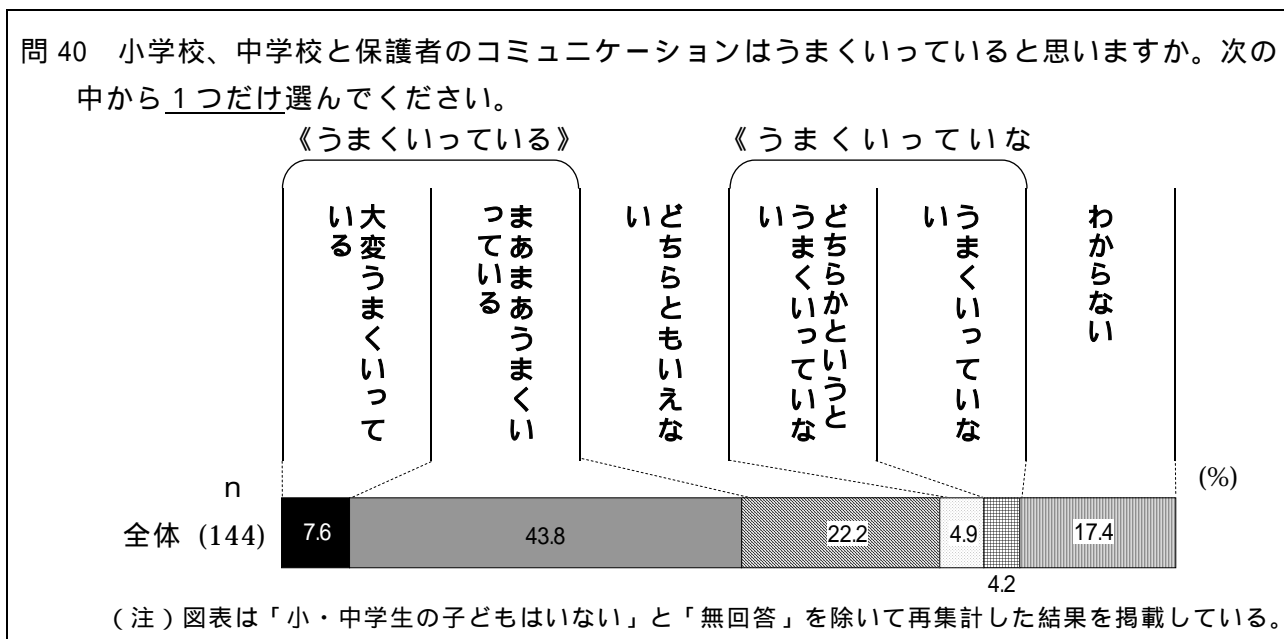
(注) 図表は「中学生までの子どもはいない」と「無回答」を除いて再集計した結果を掲載している。

子どもとのコミュニケーションについての心掛けとしては、「良いこと・悪いことをきちんと教える」(18.9%)、「挨拶など日常的な人との接し方を教える」(17.0%)、「いっしょに食事をする」(16.9%)、「話す時間をつくる」(16.0%)の4項目が1割台後半でほぼ並ぶ。

回答のうち、全体の数値から「中学生までの子どもはいない」と「無回答」を除いて再集計をしてみると、「良いこと・悪いことをきちんと教える」(84.5%)が8割台半ばに近く最も高く、以下、「挨拶など日常的な人との接し方を教える」(76.1%)、「いっしょに食事をする」(75.6%)、「話す時間をつくる」(71.4%)の3項目が7割台となっている。

## (20) 小・中学校と保護者とのコミュニケーション状況

《うまくいっている》は 51.4%

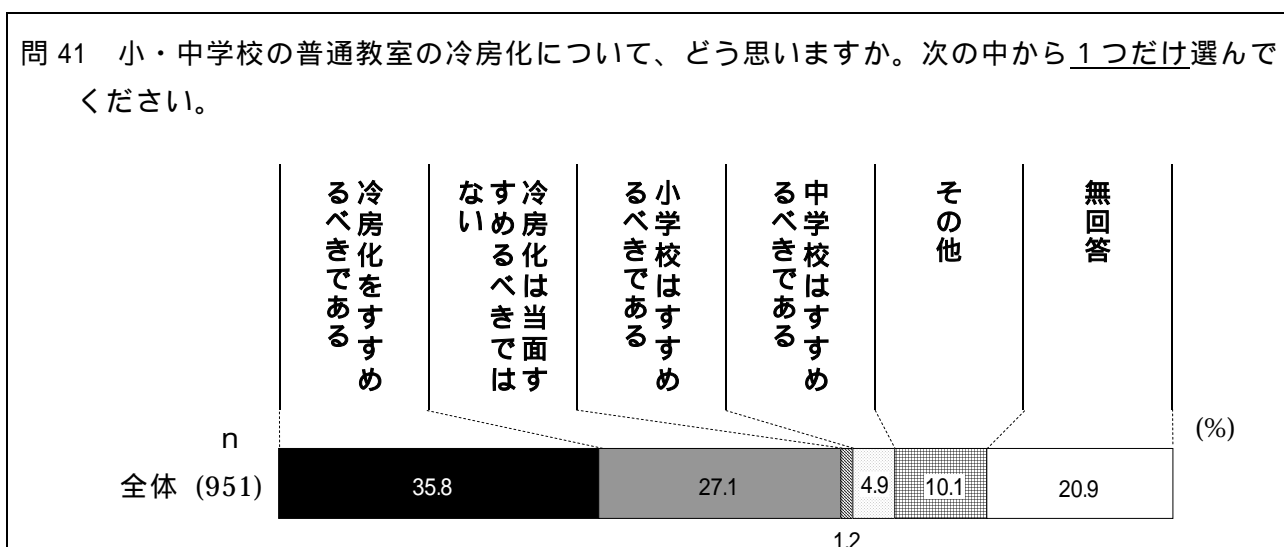


小・中学校と保護者とのコミュニケーション状況としては、「大変うまくいっている」(1.2%)と「まあまあうまくいっている」(6.6%)を合わせた、《うまくいっている》(7.8%)は1割に満たない。一方で、「どちらかというとうまくいっていない」(0.7%)と「うまくいっていない」(0.6%)を合わせた、《うまくいっていない》(1.3%)はごくわずかである。

なお、回答のうち、全体の数値から「小・中学生の子どもはいない」と「無回答」を除いて再集計してみると、《うまくいっている》(51.4%)は半数を超えている。しかし、その一方で、「どちらともいえない」(22.2%)が2割を超え、《うまくいっていない》(9.1%)が1割弱いる。

## (21) 小・中学校普通教室の冷房化意向

「冷房化をすすめるべきである」が 35.8%



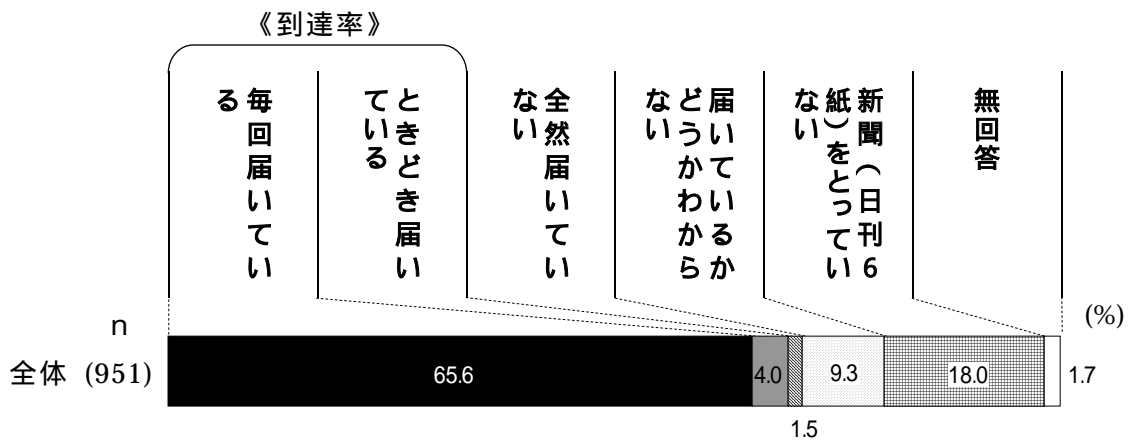
小・中学校普通教室の冷房化意向としては、「冷房化をすすめるべきである」(35.8%)は3割台半ばを超えるが、「その他」(10.1%)と「無回答」(20.9%)が合わせて3割ある。

【広報・広聴】

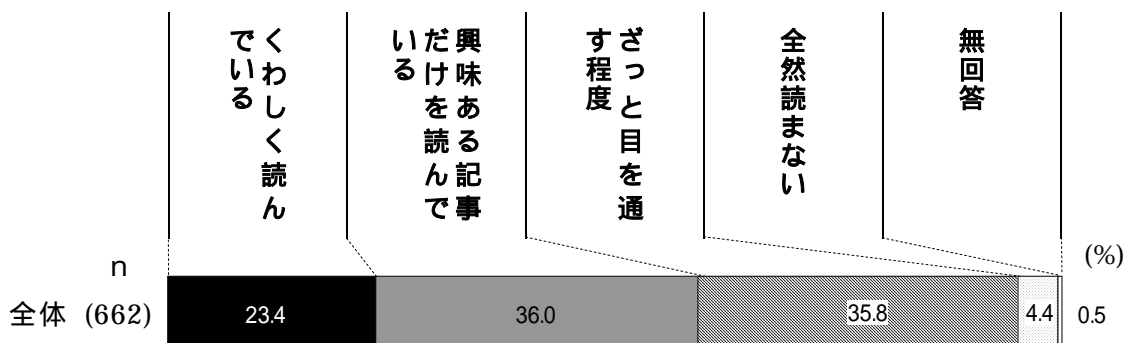
(1)「江東区報」の到達状況

《到達率》は69.6%で7割弱

問 42 区は親しみやすい区政を心がけています。そのため区のお知らせ「江東区報」を新聞(日刊6紙)に折り込んで月3回お届けしていますが、届いていますか。次の中から1つだけ選んでください。(日刊6紙=朝日・産経・東京・日経・毎日・読売)



【「江東区報」の閲読状況】

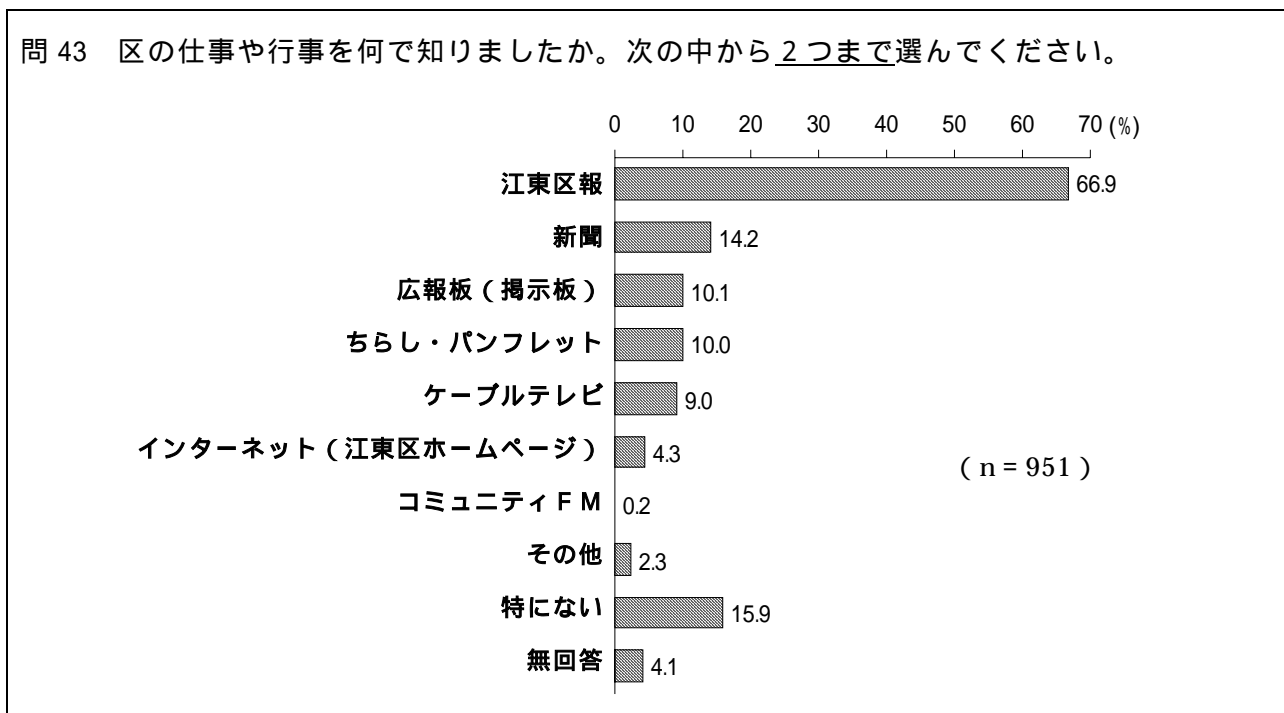


「江東区報」の到達状況としては、「毎回届いている」(65.6%)が最も多くなっている。これに「ときどき届いている」(4.0%)を合わせた、《到達率》(69.6%)は7割弱となる。なお、「新聞(日刊6紙)をとっていない」(18.0%)が約2割と比較的多い。

到達していると回答した人にその閲読状況を聞いた。その結果、「くわしく読んでいる」(23.4%)は2割台半ばに近く、「興味ある記事だけを読んでいる」(36.0%)と「ざっと目を通す程度」(35.8%)が3割台半ばを超え、ほぼ同率で並ぶ。

## (2) 区の仕事や行事の認知媒体

「江東区報」が66.9%で突出

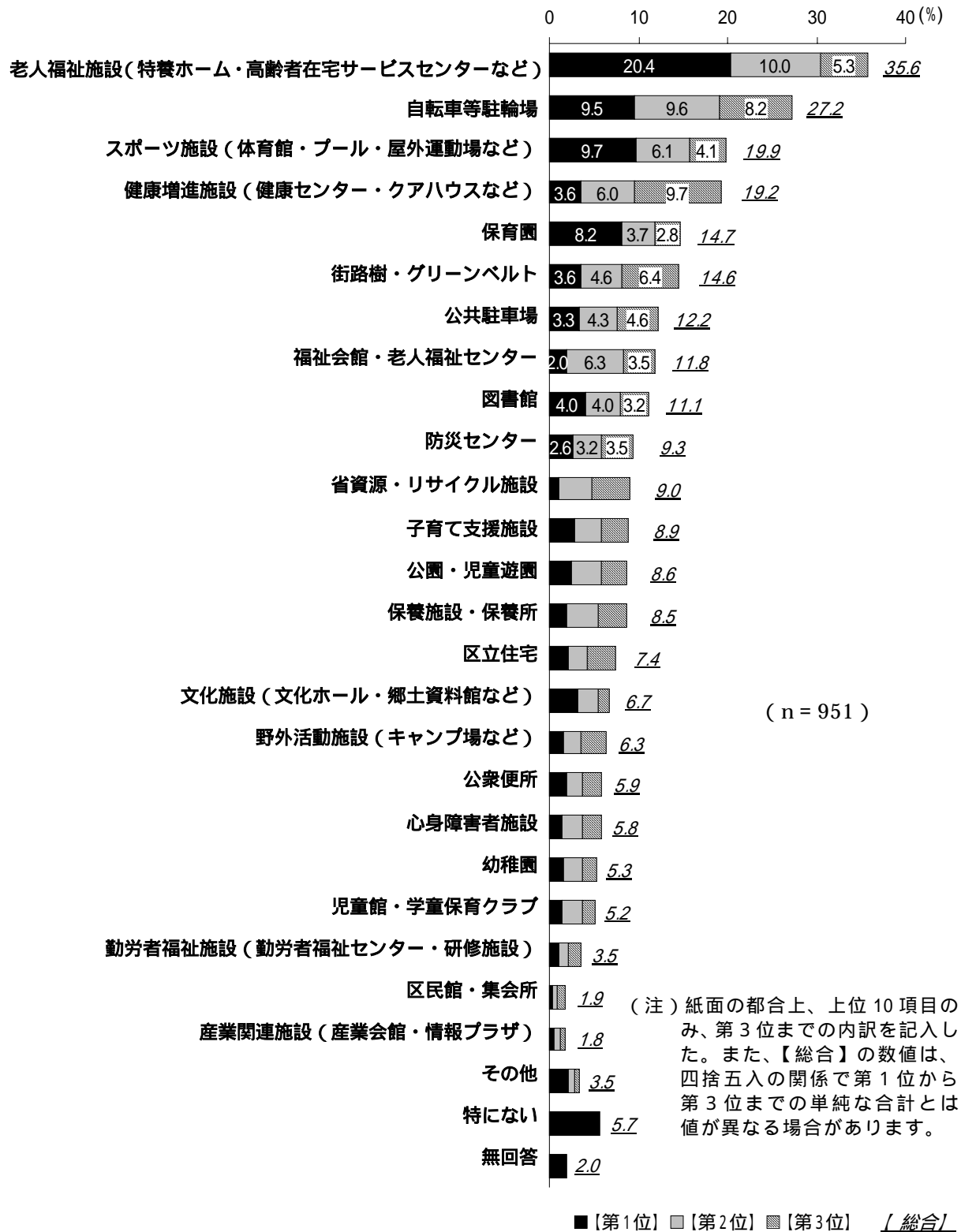


区の仕事や行事の認知媒体としては、「江東区報」(66.9%)がほぼ3人に2人と突出している。このほか、「新聞」(14.2%)、「広報板(掲示板)」(10.1%)、「ちらし・パンフレット」(10.0%)などがあげられている。

(3) 充実すべき施設

【総合】で「老人福祉施設」が35.6%とトップ

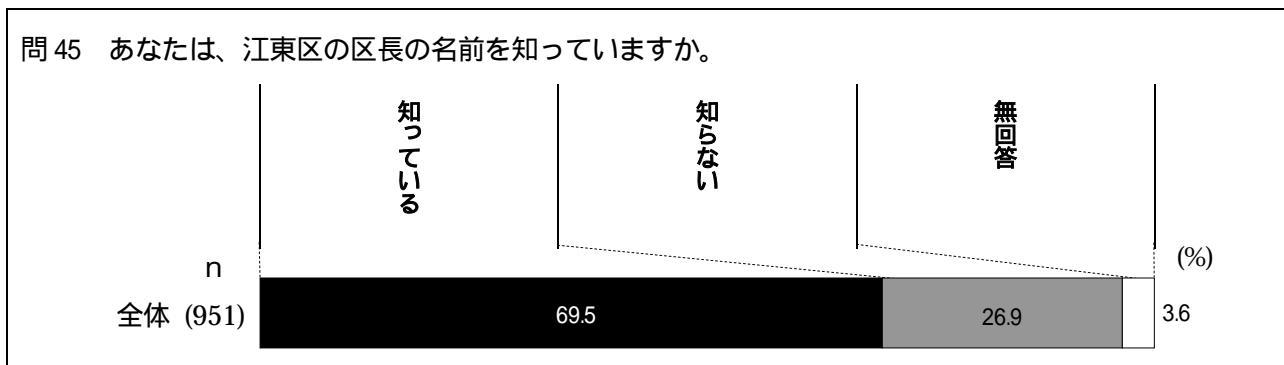
問44 今後、区でさらにどのような施設を充実させていくべきだと思いますか。3つまで選んで順位をつけて、番号を記入してください。



【総合】で見ると、「老人福祉施設(特養ホーム・高齢者在宅サービスセンターなど)」(35.6%)が3割台半ばで最も高くなっており、「自転車等駐輪場」(27.2%)が続いている。

#### (4) 区長名の周知状況

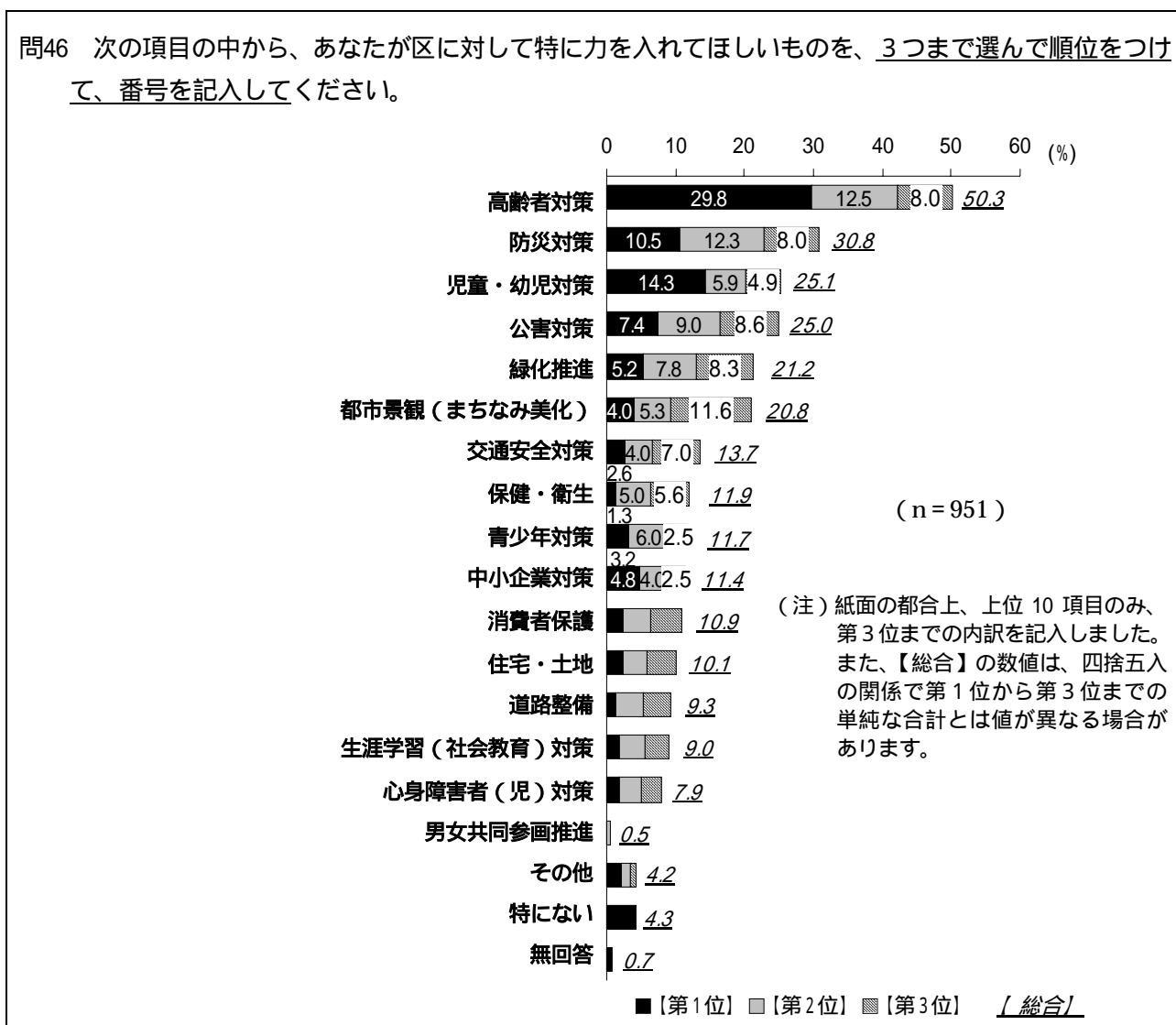
「知っている」は69.5%



区長名を「知っている」(69.5%)は約7割で、「知らない」(26.9%)を上回っている。

#### (5) 施策への要望

【総合】で「高齢者対策」が50.3%と半数を超え突出



【総合】でみると、「高齢者対策」(50.3%)が半数を超え突出している。次いで、「防災対策」(30.8%)が3割を超え、「児童・幼児対策」(25.1%)と「公害対策」(25.0%)が4人に1人である。